B5FK-9361-02 Z0

FUJITSU Tablet ARROWS Tab

本書をお読みになる前に
1 ソフトウェア
2 BIOS
3 トラブル シューティング

製品ガイド

（共通編）

目次

本書をお読みになる前に 4
安全にお使いいただくために 4
本書の表記 4
Windowsの操作 6
BIOSやドライバーのアップデートについて 8
商標および著作権について 8

第1章　ソフトウェア

1.1 ソフトウェアの紹介 10
1.1.1 一覧表の見かた 10
1.1.2 セキュリティ関連のソフトウェア 11
1.1.3 サポート関連のソフトウェア 12
1.1.4 ユーティリティ 13
1.1.5 CD/DVD関連のソフトウェア 14
1.1.6 Office製品 15
1.2 インストール 16
1.2.1 「ドライバーズディスク検索」からのインストール 16
1.2.2 「マカフィー リブセーフ」のインストール 18
1.2.3 「i-フィルター」のインストール 18
1.2.4 「SMARTACCESS/Basic」のインストール 18
1.2.5 Office製品のインストール 19
1.3 アンインストール 20
1.3.1 注意事項 20
1.3.2 アンインストール方法 20

第2章　BIOS

2.1 BIOSセットアップ 22
2.2 BIOSセットアップの操作のしかた 23
2.2.1 BIOSセットアップを起動する 23
2.2.2 BIOSセットアップ画面 23
2.2.3 BIOSセットアップメニュー 25
2.2.4 BIOSセットアップを終了する 25
2.2.5 起動メニューを使用する 26
2.3 設定事例集 27
2.3.1 BIOSのパスワード機能を使う 27
2.3.2 起動デバイスを変更する 31
2.3.3 セキュリティチップの設定を変更する 31
2.3.4 パスワードの代わりに指紋認証を使う 33
2.3.5 パスワードの代わりに手のひら静脈認証を使う 33

2.3.6 Wakeup on LANを有効にする 34
2.3.7 イベントログを確認する 35
2.3.8 イベントログを消去する 35
2.3.9 ご購入時の設定に戻す 36
2.4 ME BIOS Extension 37
2.4.1 初期パスワードを変更する 38
2.4.2 MEセットアップを起動する 40
2.4.3 MEセットアップを終了する 41
2.4.4 メニュー詳細 42

第3章 トラブルシューティング

3.1 トラブル発生時の基本操作 44
3.1.1 状況を確認する 44
3.1.2 以前の状態に戻す 45
3.1.3 トラブルシューティングで調べる 45
3.1.4 Windowsのヘルプで調べる 45
3.1.5 インターネットで調べる 45
3.1.6 診断プログラムを使用する 46
3.1.7 サポートの窓口に相談する 48
3.2 よくあるトラブルと解決方法 49
3.2.1 トラブル一覧 49
3.2.2 起動・終了時のトラブル 51
3.2.3 Windows・ソフトウェア関連のトラブル 55
3.2.4 ハードウェア関連のトラブル 57
3.2.5 エラーメッセージ一覧 69
3.3 それでも解決できないときは 76
3.3.1 お問い合わせ先 76

廃棄・リサイクル 77

付録1 タブレット本体の廃棄・譲渡時の注意 78

タブレットの廃棄・譲渡時の
フラッシュメモリディスク上のデータ消去に関する注意 78
フラッシュメモリディスクデータ消去 79

付録2 Windowsの新規インストールについて 83

注意事項 83
新規インストールの準備 85
新規インストール手順 86

付録3 認定および準拠について 88

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が『取扱説明書』に記載されています。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書の表記

本書の内容は2017年9月現在のものです。お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】＋【F3】キー、【Shift】＋【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をタップし、「システム」をタップし、「デバイスマネージャー」をタップする操作

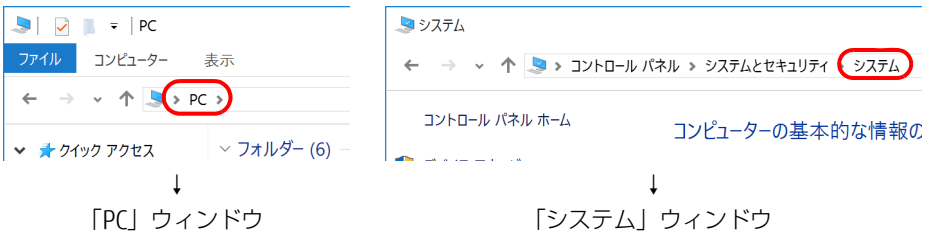
↓

「システムとセキュリティ」→「システム」の「デバイスマネージャー」の順にタップします。

■ ウィンドウ名の表記

本文中のウィンドウ名は、アドレスバーの最後に表示されている名称を表記しています。

例：



↓ 「PC」ウィンドウ

↓ 「システム」ウィンドウ

■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略したり形状を簡略化したりしていることがあります。

■ 周辺機器の使用

本文中の操作手順において、DVDなどを使用することがあります。
必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。
使用できる周辺機器については、富士通製品情報ページ内にある「システム構成図」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/）をご覧ください。
また、使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■ 本文に記載しているディスク

ディスク名称	ARROWS Tab		
	Q737/R、Q737/R-PV、R727/R	Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP	V567/R
リカバリUSBメモリ注1	—	●注2	●
リカバリデータディスク	●	●注3	—
リカバリ起動ディスク	●	—	—
トラブル解決ナビディスク[リカバリ起動ディスク]	—	●注3	—
ドライバーズディスク	●	●注3	—

注1 ： ディスクの作成はできません。
注2 ： Windows 10の場合
注3 ： Windows 8.1の場合

お使いの機種により対応するディスクが異なります。
また、ご購入時の構成によっては、これらのディスクは添付されていません。
本タブレットに格納されているイメージからディスクを作成する必要があります。作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。

■ 本文に記載している仕様とお使いの機種との相違

ご購入時の構成によっては、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
なお、本文内において、機種やOS別の書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

■ 製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Windows 10 Pro 64ビット版</td><td rowspan="2">Windows 10（64ビット版）</td><td rowspan="2">Windows 10</td><td rowspan="3">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows 10 Home 64ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1 Pro 64ビット版</td><td>Windows 8.1（64ビット版）</td><td>Windows 8.1</td></tr>
<tr><td>Microsoft Office Professional 2016</td><td>Office Professional 2016</td><td rowspan="3" colspan="2">Office</td></tr>
<tr><td>Microsoft Office Home & Business 2016</td><td>Office Home & Business 2016</td></tr>
<tr><td>Microsoft Office Personal 2016</td><td>Office Personal 2016</td></tr>
<tr><td>Bluetooth®</td><td colspan="3">Bluetooth</td></tr>
<tr><td>FUJITSU Software Portshutter Premium</td><td colspan="3">Portshutter Premium</td></tr>
<tr><td>FUJITSU Software パソコン乗換ガイド</td><td colspan="3">パソコン乗換ガイド</td></tr>
<tr><td>i-フィルター® for マルチデバイス</td><td colspan="3">i-フィルター</td></tr>
<tr><td>Roxio Creator LJ</td><td colspan="3">Roxio Creator</td></tr>
<tr><td>マカフィー® リブセーフ™</td><td colspan="3">マカフィー リブセーフ</td></tr>
</table>

Windowsの操作

■ 基本的操作の表記

本文中の基本的操作の表記は、主にタッチパネル操作で説明しています。
マウスやフラットポイントで操作する場合は、タッチパネル操作を読み替えてください。また、お使いになるアプリケーションの機能によっては、それぞれの操作方法が異なる場合があります。
タッチパネル操作とマウス操作／フラットポイント操作の主な使い方は、次のとおりです。

タッチパネル操作	マウス操作／フラットポイント操作
タップ	クリック
長押し	右クリック
ダブルタップ	ダブルクリック
ドラッグ／スワイプ	ドラッグ／スクロール

■「コントロールパネル」 ウィンドウ

次の手順で「コントロールパネル」ウィンドウを表示させてください。

□Windows 10の場合

1 「スタート」ボタン→「Windows システム ツール」→「コントロールパネル」の順にタップします。

□Windows 8.1の場合

1 画面左下隅の「スタート」ボタンを長押しし、「コントロールパネル」をタップします。
スタート画面では、マウスポインターを左下隅に合わせるとWindowsのマークが表示されます。

POINT

- アプリ画面（→P.7）からも表示できます。
  1.「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をタップします。

■ アプリ画面 （Windows 8.1）

インストールされている、すべてのプログラムを表示させる画面です。
次の操作で表示できます。

1 スタート画面で上方向にスライドします。

■ Windowsのヘルプ

本書で説明されていないWindowsの機能については、次の操作で表示されるWindowsのヒントおよびヘルプをご覧ください。
Windowsのヒントおよびヘルプのご利用は、ネットワークに接続する必要があります。

□Windows 10の場合

1 「スタート」ボタン→「ヒント」をタップします。

2 画面左側のメニューで「ヒントを参照する」をタップします。

□Windows 8.1の場合

1 アプリ画面（→P.7）を表示し、「Windows システム ツール」の「ヘルプとサポート」をタップします。

■ ユーザーアカウント制御

本書で説明しているWindowsの操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前にWindowsが表示しているものです。表示されるメッセージに従って操作してください。

BIOSやドライバーのアップデートについて

本タブレットには、さまざまなソフトウェアや周辺機器の接続／制御に必要なBIOS、ドライバーなどが搭載されています。
これらのソフトウェア、BIOS、ドライバーに対して、アップデートプログラムが提供されることがあります。
アップデートプログラムには、次のような内容が含まれています。

- 機能の向上、追加
- 操作性の向上
- 品質改善

本タブレットをより快適にお使いいただくために、常に最新版のBIOSやドライバーを適用してください。
アップデート方法については、弊社アップデートサイト（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）をご覧ください。

商標および著作権について

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel vProは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標であり、富士通株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
Corel、Corelバルーンロゴ、Roxio、Roxioのロゴ、Roxio Creatorは、カナダ、アメリカ合衆国および/またはその他の国のCorel Corporationおよび/またはその関連会社の商標または登録商標です。
HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または、登録商標です。
デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
InsydeH2Oは Insyde Softwareの登録商標です。
McAfee、マカフィー、McAfee のロゴ、LiveSafe、リブセーフは、米国法人 Intel Corporation またはMcAfee, Inc.、もしくは米国またはその他の国の関係会社における商標です。

SDXCロゴは SD-3C, LLC. の商標です。

Xi、FOMAはNTTドコモの商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2017

本タブレットは、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合した文言、またはマークを画面に電子的に表示しています。
表示の操作方法は、「付録3 認定および準拠について」（→P.88）をご覧ください。

本タブレットは、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マーク を画面に表示することができます。
表示の操作方法は、「付録3 認定および準拠について」（→P.88）をご覧ください。

1

第1章

ソフトウェア

本タブレットにプレインストール（添付）されているソフトウェアの概要や、インストール、アンインストール方法を説明しています。

1.1 ソフトウェアの紹介 10
1.2 インストール 16
1.3 アンインストール 20

1.1 ソフトウェアの紹介

ここでは、本タブレットにプレインストールまたは添付されているソフトウェアの概要と、ご購入時の提供形態を説明しています。
ご購入時にインストールされているソフトウェアは、削除してしまったり、データやファイルが破損したりした場合に再インストールできるように、「ドライバーズディスク」などに格納されています。
また、ご購入時にはインストールされておらず、お使いになる前にCドライブなどからインストールするソフトウェアもあります。
各ソフトウェアの格納場所は、次ページ以降の一覧表で確認してください。

その他の情報については次をご覧ください。

- ソフトウェアの使い方
  ヘルプまたは「Readme.txt」などの説明ファイルをご覧ください。
  ヘルプは、【F1】キーを押したり「ヘルプ」をタップしたりすることで表示されます。
- インストール方法
  「1.2 インストール」（→P.16）をご覧ください。
- カスタムメイドのソフトウェアおよび一部のソフトウェア
  インターネット上のマニュアル（http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/）の機能別のマニュアルをご覧ください。

1.1.1　一覧表の見かた

ソフトウェア一覧表の欄にある項目や記号について説明します。

- OSについて
  お使いのタブレットに該当するOSの欄をご覧ください。
  ・Win10 ：Windows 10
  ・Win8.1：Windows 8.1
- ご購入時のソフトウェアの提供形態について
  ●：ご購入時にインストール済み
  ◇：Cドライブに格納（ご購入時はインストールされていません）
  ▲：「ドライバーズディスク」に格納（ご購入時はインストールされていません）
  ■：Windows 10の場合、起動メニュー（Boot Menu）より選択（→P.26）
  　Windows 8.1の場合「トラブル解決ナビディスク」に格納
  －：搭載されていないか、対象となる機種がありません

「ドライバーズディスク」は、本タブレットのフラッシュメモリディスクに格納されています。ディスクがお手元にない場合はフラッシュメモリディスクからディスクを作成してください。作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。

1.1.2　セキュリティ関連のソフトウェア

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.10）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	Win10	Win8.1
i-フィルター	インターネット上の有害なコンテンツをブロックするソフトウェアです。有害サイトへアクセスしようとすると、表示できない主旨のメッセージ画面が自動的に表示されます。 フリーソフトのため、サポートはしていません。 ・「i-フィルター」の利用期間は、初回起動時から30日間です。利用期間が経過すると、フィルター機能は利用できなくなります。継続して利用する場合は、オンラインにてユーザー登録、シリアルIDの購入が必要です。	◇	◇
Portshutter Premium	対 象 ARROWS Tab Q507/REを除く USBポート（Webカメラなど内蔵USBデバイスを含む）や光学ドライブなどの接続ポートの有効・無効を設定します。不要な機器の使用を制限することで、情報漏えいを防止できます。	▲	▲
SMARTACCESS/Basic	対 象 指紋センサー／手のひら静脈センサー（ARROWS Tab Q737/R-PV）／スライド式静脈センサー（ARROWS Tab Q507/R-SP）／スマートカードスロット搭載機種 指紋センサー、手のひら静脈センサー、スライド式静脈センサー、スマートカードスロットを使用するためのソフトウェアです。	▲	▲
マカフィー リブセーフ	コンピューターウイルスを検出・駆除します。無償サポート、無償アップデートの期間は、使用開始から60日間です。 インストールの方法については「1.2.2 「マカフィー リブセーフ」のインストール」（→P.18）を、その他のお問い合わせは「3.3.1 お問い合わせ先」（→P.76）をご覧ください。	◇	◇
ハードディスクデータ消去	フラッシュメモリディスク内のデータを消去します。 詳しくは、「フラッシュメモリディスクデータ消去」（→P.79）をご覧ください。	■	■

1.1.3　サポート関連のソフトウェア

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.10）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	Win10	Win8.1
UpdateAdvisor（本体装置）	お使いのタブレットのドライバー、添付ソフトウェアのアップデート版が、弊社アップデートサイトに公開されているかを調査し、適用することができます。 「スタート」メニューから起動します。 また、「UpdateAdvisor（本体装置）情報収集」を利用してお使いのタブレットの動作環境情報を収集できます。 ・「UpdateAdvisor（本体装置）情報収集」は、弊社サポートより依頼があった場合にのみお使いください。	●	●
サポートナビ	本タブレットを快適にお使いいただくためのナビゲーションツールを目的別に分類したランチャーです。	●	●
パソコン乗換ガイド	対 象 ARROWS Tab Q507/RE、Vシリーズを除く 今までお使いになっていたタブレットから、現在お使いのタブレットへ必要なデータを移行できます。 ・「パソコン乗換ガイド」では移行できないデータもあります。	▲	▲
稼働時間積算モニター	対 象 ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP 本タブレットの稼働時間を記録します。稼働時間の記録は、故障などで修理するときに必要となりますので、アンインストールしないでください。	●	●
端末診断ツール	対 象 ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP タブレットの状態を診断し表示します。	▲	▲
富士通ハードウェア診断ツール	ハードウェアに障害が発生していないか診断できます。 詳しくは、「3.1.6 診断プログラムを使用する」（→P.46）をご覧ください。	■	■

1.1.4　ユーティリティ

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.10）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	Win10	Win8.1
Easy Backup2	お客様が作成したファイルなどを簡単な操作でまとめてバックアップできます。	▲	▲
Plugfree NETWORK	無線LANや有線LAN、およびダイヤルアップネットワークに接続するための設定を統合的に管理するソフトウェアです。 「Plugfree NETWORK」が接続したネットワークを判定し、会社、通勤中、自宅など、タブレットを使う場所が変わっても、自動で最適な設定に切り替えます。 「ネットワーク診断」でネットワークの状態を確認し、トラブル解決のサポートをします。 詳しくは、「Plugfree NETWORK」のヘルプをご覧ください。 なお、無線WANには対応していません。	●	●
Skylight	対 象 無線WANモデル ネットワークサービスへ接続、また接続するために必要な設定を行うソフトウェアです。	●	●
YouCam Mobile for FUJITSU	対 象 ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP Webカメラで写真や動画の撮影ができます。	●	●
ステータスパネルスイッチ	タブレットの環境設定や各デバイスの設定を、画面上のボタン操作で可能にするソフトウェアです。 詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「ステータスパネルスイッチ」をご覧ください。	●	●
スピーカー切り替えユーティリティ	対 象 ARROWS Tab Vシリーズ ・オーディオ選択メニュー スピーカー（内蔵スピーカー）とレシーバー（受話スピーカー）の設定が行えます。 詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「サウンド」―「既定のオーディオ機器を選択する」をご覧ください。 ・ボリュームの個別設定 スピーカー（内蔵スピーカー）とレシーバー（受話スピーカー）の音量を調整します。 詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「サウンド」―「機器や項目ごとの音量を調節する」をご覧ください。	●	－
着信通知ユーティリティ	対 象 ARROWS Tab Vシリーズ 対応した通話アプリを使用する場合、着信時のLED表示やバイブレーションの設定ができます。 詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「通話」―「着信通知ユーティリティ」をご覧ください。	●	－

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.10）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	Win10	Win8.1
デバイス監視ユーティリティ	対 象 ARROWS Tab Vシリーズ タブレット本体の異常を感知すると、警告メッセージを表示します。表示されるメッセージは、「3.2.4 ハードウェア関連のトラブル」の「■ その他」（→P.67）をご覧ください。	●	–
電源オフUSB充電ユーティリティ	対 象 電源オフUSB充電機能対応コネクタ搭載機種 省電力状態（スリープ、休止状態）、電源オフの状態で、USB充電に対応したUSB対応周辺機器に充電を行うためのユーティリティソフトです。	●	●
ドライバーズディスク検索	ドライバーやアプリをインストールするときに使用するソフトウェアです。	●	●
バッテリーユーティリティ	バッテリの情報を表示します。詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「バッテリ」をご覧ください。	●	●
富士通システムマネージャー	対 象 ARROWS Tab Vシリーズを除く クレードルの着脱の判別を行います。	●	●
ワンタッチボタン設定	対 象 ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV スリムキーボードを接続しているときに、【Fn】＋【F6】または【Fn】＋【F7】キーを押して明るさを変更することができます。	●	–
マナーモード	対 象 ARROWS Tab Vシリーズ 対応した通話アプリを使用する場合、着信音を鳴らさないように設定できます。 詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「通話」―「マナーモード」をご覧ください。	●	–

1.1.5　CD/DVD関連のソフトウェア

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.10）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	Win10	Win8.1
Roxio Creator	対 象 ARROWS Tab Vシリーズを除く タブレットのデータをCDやDVDに保存できます。 使用方法についてはソフトウェアのヘルプをご覧ください。	●	●

1.1.6　Office製品

カスタムメイドで選択したソフトウェアをご覧ください。
ご購入時にOfficeはインストールされています。Officeをお使いになる場合は、プロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。詳しくは、「1.2.5 Office製品のインストール」（→P.19）またはソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

重 要

- リカバリデータディスク（※1）およびリカバリUSBメモリ（※2）を使用してリカバリを実行した場合、Officeはインストールされません。マイクロソフト社のホームページ（http://www.office.com/jppipcsetup/）からOffice製品をダウンロードしてください。
  - ※1： ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV、Rシリーズおよび、ARROWS Tab Q507/RB、Q507/REでWindows8.1（ご購入時添付のディスクを使用）の場合
  - ※2： ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SPのWindows10および、ARROWS Tab Vシリーズの場合
- ARROWS Tab Q507/RB、Q507/REでWindows 8.1の場合は、お客様が作成したリカバリデータディスクでリカバリを実行したときは、Officeはインストールされます。

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.10）をご覧ください。

名称	含まれるソフトウェア	概要／提供形態	Win10	Win8.1
Microsoft Office Professional 2016	Microsoft Word 2016	ワープロ	●	●
	Microsoft Excel 2016	表計算		
	Microsoft Outlook 2016	情報管理		
	Microsoft PowerPoint 2016	プレゼンテーション		
	Microsoft OneNote 2016	デジタルノート		
	Microsoft Access 2016	データベース		
	Microsoft Publisher 2016	ビジネスパブリッシング		
Microsoft Office Home & Business 2016	Microsoft Word 2016	ワープロ	●	●
	Microsoft Excel 2016	表計算		
	Microsoft Outlook 2016	情報管理		
	Microsoft PowerPoint 2016	プレゼンテーション		
	Microsoft OneNote 2016	デジタルノート		
Microsoft Office Personal 2016	Microsoft Word 2016	ワープロ	●	●
	Microsoft Excel 2016	表計算		
	Microsoft Outlook 2016	情報管理		

1.2 インストール

インストール方法はお使いになるソフトウェアにより異なります。
データの格納されたフォルダー内にある「Readme.txt」などの説明ファイルや、機能別マニュアル、ソフトウェアに添付のマニュアルなどを必ずご確認のうえ、手順に従ってインストールしてください。

重 要

- 誤ったドライバーをインストールした場合、本タブレットが正しく動作しなくなり、リカバリが必要となることがあります。必ずOSや機種名を確認し、正しいドライバーを使用してください。
- すでにインストールされているドライバーについては、特に問題がない限りインストールしないでください。
- 管理者アカウントでWindowsにサインインしてからインストールしてください。

1.2.1 「ドライバーズディスク検索」からのインストール

「ドライバーズディスク」(注) またはフラッシュメモリディスクに格納されているソフトウェアまたはドライバーは、「ドライバーズディスク検索」を使ってインストールできます。

注 ：・「i-フィルター」をインストールする場合は、「1.2.3 「i-フィルター」のインストール」（→P.18）をご覧ください。
・「SMARTACCESS/Basic」をお使いになるには、認証デバイスによりドライバーのインストールが必要になる場合があります。インストール方法については、必ず「1.2.4 「SMARTACCESS/Basic」のインストール」（→P.18）をご覧ください。

重 要

- 次のソフトウェアは「ドライバーズディスク検索」からインストールできません。各ソフトウェアのインストールをご覧ください。
  ・マカフィー リブセーフ（→P.18）
  ・Office製品（→P.19）
- 「ドライバーズディスク」は、本タブレットのフラッシュメモリディスクに格納されています。ディスクがお手元にない場合はフラッシュメモリディスクからディスクを作成してください。作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。
- ドライバーやソフトウェアのアップデート版は、弊社アップデートサイトに公開されています。システムの安定稼働のため、常に最新版のドライバーやユーティリティを適用することをお勧めします。なお、本タブレットに搭載されているすべてのドライバーやソフトウェアが公開されているわけではありません。

1 次の操作を行います。

重 要

- ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SPでWindows 10をお使いの場合および、ARROWS Tab Vシリーズの場合
  ディスクからのインストールはできません。「● フラッシュメモリディスクのデータからインストールする場合」の手順でインストールをしてください。

●ディスクからインストールする場合

1. ディスクをセットします。
   「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- メッセージ（Windows 10は画面右下、Windows 8.1は画面右上）が表示された場合は、そのメッセージをタップし、続けて「DRVCDSRC.exeの実行」をタップしてください。
- 「ドライバーズディスク検索」が起動しない場合は、次のように操作してください。
  1. 次の操作を行います。
     - Windows 10の場合
       1. 「スタート」ボタンを長押しし、「エクスプローラー」をタップします。
       2. ウィンドウ左の「PC」をタップします。
     - Windows 8.1の場合
       1. アプリ画面（→P.7）を表示し、「Windows システムツール」の「PC」をタップします。
  2. ディスクをセットしたドライブのアイコンを長押しし、表示されたメニューから「自動再生を開く」をタップします。
  3. 「DRVCDSRC.exeの実行」をタップします。

●フラッシュメモリディスクのデータからインストールする場合

- Windows 10の場合

1. 「スタート」ボタン→「Fujitsu - ドライバーズディスク検索」→「ドライバーズディスク検索（ハードディスク）」の順にタップします。
2. メッセージが表示されたら、「OK」をタップします。

- Windows 8.1の場合

1. アプリ画面（→P.7）を表示し、「Fujitsu - ドライバーズディスク検索（ハードディスク）」をタップします。
   「ドライバーズディスク検索」が起動します。

2 「ソフトウェアの検索条件」で機種名が選択できる場合は、お使いの機種名を選択します。

3 「ソフトウェアの検索条件」でお使いのOSを選択します。

4 「種別」に「すべて」を選択します。

5 インストールするソフトウェアを選択します。
「内容」に、インストールするソフトウェアのフォルダーが表示されます。

6 「インストール方法の確認」をタップします。
Readmeなどのテキストファイルを選択するウィンドウが表示されます。

7 テキストファイルを選択し、「開く」をタップします。
テキストファイルの手順に従って、ドライバーをインストールしてください。

●Portshutter Premiumをインストールする場合
デバイス制御、ネットワーク制御でインストール方法が異なります。
それぞれのソフトウェア説明書をご覧になりインストールしてください。
・デバイス制御
「PortshutterPremiumDevice」フォルダの「操作マニュアル.pdf」
・ネットワーク制御
「PortshutterPremiumNetwork」フォルダの「操作マニュアル.pdf」

ドライバーのインストール完了後、本タブレットが再起動します。

1.2.2　「マカフィー リブセーフ」のインストール

POINT

- 「マカフィー リブセーフ」をインストールしていると、お使いのソフトウェアによっては正常にインストールされなかったり、不具合が発生したりすることがあります。

1 次のファイルをご覧になり、インストールします。
C:¥Fujitsu¥Bundle¥MLS¥Readme.txt

2 インストールが完了したら本タブレットを再起動します。

重 要

- ウイルス定義ファイルは、常に最新の状態でお使いください。詳しくは「マカフィー リブセーフ」のヘルプをご覧ください。
- ウイルス定義の更新は、システム管理者の指示に従って実行してください。
- 定義を更新するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

1.2.3　「i-フィルター」のインストール

Cドライブに格納されています。次のファイルをご覧になり、インストールしてください。
C:¥Fujitsu¥Bundle¥I-Filter¥Readme.txt

1.2.4　「SMARTACCESS/Basic」のインストール

「SMARTACCESS/Basic」は「ドライバーズディスク」に格納されていますが、インストールの方法や順番が、他のソフトウェアとは異なります。「SMARTACCESS/Basic」のインストール方法については、『SMARTACCESSファーストステップガイド』をご覧ください。

1.2.5　Office製品のインストール

重 要

- インターネットに接続し、インストールしてください。
- Microsoftアカウントが必要となります。

1 Officeを起動します。

●Windows 10の場合

1.「スタート」ボタン→「Microsoft Office」の順にタップします。

●Windows 8.1の場合

1. アプリ画面（→P.7）を表示し、「Microsoft Office」をタップします。

2 この後は、画面に従って操作します。

・プロダクトキーの入力
プロダクトキーは、プロダクトキーカードに貼付されています。

・使用許諾契約の同意
ライセンス条項を表示して必ずお読みください。

Office製品のご利用は「Officeの更新」を適用して、常に最新の状態に更新してください。

重 要

- ご購入時に添付のディスクを使ってリカバリを実行した場合、Office製品はインストールされません。マイクロソフト社のホームページからOffice製品をダウンロードしてください。
  インストール方法については、次のホームページをご覧ください。
  http://www.office.com/jppipcsetup/

1.3 アンインストール

1.3.1　注意事項

ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の点に注意してください。

- ソフトウェアをすべて終了してからアンインストールを始めること
- DLLファイルは削除しないこと
  アンインストール時に次のようなメッセージが表示されることがあります。
  「このDLLは複数のソフトウェアで使用されている可能性があります。削除を行いますか」
  このDLLファイルを削除すると、他のソフトウェアが正常に動作しなくなることがあります。ソフトウェアのマニュアル、ヘルプ、または「Readme.txt」などの説明ファイルで、特に指示がない場合はDLLファイルは削除しないことをお勧めします。

1.3.2　アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する
  ソフトウェアにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「プログラムのアンインストールまたは変更」機能を使用する
  次の手順で削除することができます。
  1. 次の操作を行います。
     ●Windows 10の場合
     1.「スタート」ボタン→ ⚙（設定）→「アプリ」の順にタップします。
     2. 画面左側のメニューで「アプリと機能」をタップします。
     3. 画面右側の関連設定の「プログラムと機能」をタップします。
     ●Windows 8.1の場合
     1.「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.7）を表示します。
     2.「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップします。
     「プログラムと機能」が表示されます。
  2. 削除したいソフトウェアを長押しし、表示されたメニューから「アンインストール」を選択します。

アンインストール方法はソフトウェアによって異なります。詳しくは、各ソフトウェアのマニュアル、ヘルプ、または「Readme.txt」などの説明ファイルをご覧ください。

重 要

- 次の認証デバイスのドライバーをアンインストールするときは、
  「SMARTACCESS/Basic」をアンインストールした後で行うようにしてください。
  アンインストール方法については、『SMARTACCESSファーストステップガイド』をご覧ください。
  ・指紋センサー
  ・手のひら静脈センサー／スライド式静脈センサー
  ・スマートカードスロット

2

第2章

BIOS

BIOSセットアップについて説明しています。

2.1 BIOSセットアップ 22
2.2 BIOSセットアップの操作のしかた 23
2.3 設定事例集 27
2.4 ME BIOS Extension 37

2.1 BIOSセットアップ

BIOSセットアップは、メモリやフラッシュメモリディスクなどのハードウェアの環境を設定するためのプログラムです。
本タブレットご購入時には、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。
次のような場合にBIOSセットアップの設定を変更します。

・特定の人だけが本タブレットを利用できるように、本タブレットにパスワードを設定するとき
・起動デバイスを変更するとき
・セキュリティチップの設定を変更するとき
・SMARTACCESSのBIOS連携を使用するとき（指紋センサー／手のひら静脈センサー搭載機種）
・Wakeup on LANの設定を変更するとき
・起動時の自己診断（POST）にBIOSセットアップをうながすメッセージが表示されたとき

重 要

- BIOSセットアップの設定は、必ず電源を切ってから行ってください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
- BIOSセットアップは正確に設定してください。
  設定を間違えると、本タブレットが起動できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。
  このような場合には、変更した設定値を元に戻すか、ご購入時の設定に戻して本タブレットを再起動してください。
- 起動時の自己診断中は、電源を切らないでください。

2.2 BIOSセットアップの操作のしかた

ここでは、BIOSセットアップの起動と終了、および基本的な操作方法について説明しています。

2.2.1 BIOSセットアップを起動する

1 次の操作を行い、BIOSセットアップ画面を表示します。

●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合

1. ボリュームダウンボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら、ボタンを離します。
   BIOSセットアップ画面が表示されます。

●ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合

1. ボリュームダウンボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. BIOSセットアップ画面が表示されたら、ボタンを離します。

●ARROWS Tab Rシリーズの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. BIOSセットアップ画面が表示されたら、ボタンを離します。

パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力（→P.29）してください。
指紋または手のひら静脈を登録した場合は、認証を行ってください。

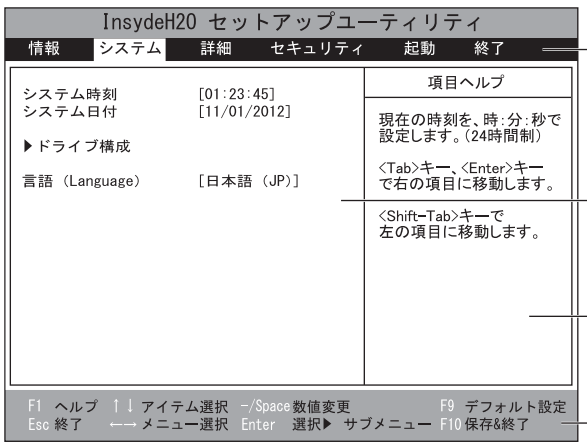
POINT

- Windowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2.2.2 BIOSセットアップ画面

BIOSセットアップ画面の各部の名称と役割は、次のとおりです。
各項目についての説明は「項目ヘルプ」を、操作方法は「キー一覧」をご覧ください。

□ARROWS Tab Q／Vシリーズの場合



（機種により表示が異なる場合があります）

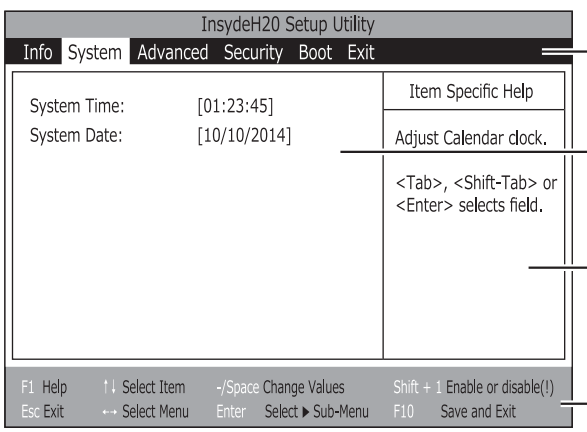
1 メニューバー
メニュー名が表示されます。

2 設定フィールド
選択しているメニューの設定項目と、現在の設定値が表示されます。

3 項目ヘルプ
カーソルを合わせた項目の説明が表示されます。

4 キー一覧
設定時に使うキーの一覧です。
項目をタップすると、各キーを押したときの動作が実行されます。
「/」で区切られた項目は2つの項目を示します。

□ARROWS Tab Rシリーズの場合



1 メニューバー
メニュー名が表示されます。

2 設定フィールド
選択しているメニューの設定項目と、現在の設定値が表示されます。

3 項目ヘルプ
カーソルを合わせた項目の説明が表示されます。

4 キー一覧
設定時に使うキーの一覧です。
項目をタップすると、各キーを押したときの動作が実行されます。
「/」で区切られた項目は2つの項目を示します。

- BIOSセットアップ画面で設定を変更する場合は、項目をタップして選択した後、もう一度タップします。または、項目をタップして選択した後、「キー一覧」にある「Enter」をタップします。
- サブメニューからメインメニューに戻る場合は、サブメニューのタイトルをタップするか、または、「キー一覧」にある「Esc」をタップします。
- 文字や数値の入力が必要な場合は、入力用ウィンドウをタップするとスクリーンキーボードが表示されるので、値を入力します。

2.2.3　BIOSセットアップメニュー

BIOSの各種設定を行います。
本タブレットのBIOSセットアップメニューについては、『BIOSセットアップメニュー 一覧』をご覧ください。

2.2.4　BIOSセットアップを終了する

■ 変更を保存して終了する

1 「終了（Exit）」メニューをタップします。
サブメニューが表示されている場合は、「終了（Exit）」メニューが表示されるまで「Esc」を2～3回タップしてください。

2 「変更を保存して終了する（Exit Saving Changes）」または「変更を保存して電源を切る（Save Changes and Power Off）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
確認メッセージが表示されます。

3 「はい（Yes）」をタップします。
BIOSセットアップが終了します。「変更を保存して終了する（Exit Saving Changes）」を選択した場合はWindowsが起動し、「変更を保存して電源を切る（Save Changes and Power Off）」を選択した場合はタブレットの電源が切れます。

■ 変更を保存せずに終了する

1 「終了（Exit）」メニューをタップします。
サブメニューが表示されている場合は、「終了（Exit）」メニューが表示されるまで「Esc」を2～3回タップしてください。

2 「変更を保存せずに終了する（Exit Discarding Changes）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
確認メッセージが表示されます。

POINT

- 何も変更していない場合は、メッセージは表示されずにBIOSセットアップが終了し、Windowsが起動します。

3 「いいえ（No）」をタップします。
BIOSセットアップが終了し、Windows が起動します。

重 要

- 「はい（Yes）」を選択すると、変更が保存されてしまいます。必ず「いいえ（No）」を選択してください。

2.2.5　起動メニューを使用する

起動するデバイスを選択して本タブレットを起動します。「リカバリUSBメモリ」、「リカバリ起動ディスク（Windows 10）」や「トラブル解決ナビディスク（Windows 8.1）」から本タブレットを起動する場合などに使用します。

重 要

- BIOSセットアップの「セキュリティ（Security）」メニューの「起動メニュー（Boot Menu）」が「使用しない（Disabled）」の場合は、起動メニューを使用できません。その場合は、「使用する（Enabled）」に設定し直してください。

1 次の操作を行い、起動メニュー（Boot Menu）を表示します。

●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら、ボタンを離します。
   起動メニューが表示されます。

●ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. 起動メニューが表示されたら、ボタンを離します。

●ARROWS Tab Rシリーズの場合

1. ボリュームダウンボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. Boot Menuが表示されたら、ボタンを離します。

パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力（→P.29）してください。
指紋または手のひら静脈を登録した場合は、認証を行ってください。

POINT

- Windowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2 起動するデバイスをタップして選択し、もう一度タップします。
選択したデバイスから本タブレットが起動します。

POINT

- 光学ドライブから起動する場合、光学ドライブにディスクをセットしてから操作してください。
- 光学ドライブから起動する場合、光学ドライブのデータの読み出しが停止していることを確認してから「Enter」をタップしてください。
  光学ドライブのデータの読み出し中に「Enter」をタップすると、光学ドライブから正常に起動できない場合があります。
- 起動メニューを終了して通常の方法で起動する場合は、「Esc」をタップしてください。

2.3 設定事例集

ここでは、よく使われる設定について、その設定方法を記載しています。お使いの状況にあわせてご覧ください。

・BIOSのパスワード機能を使う（→P.27）
・起動デバイスを変更する（→P.31）
・セキュリティチップの設定を変更する（→P.31）
・パスワードの代わりに指紋認証を使う（→P.33）
・パスワードの代わりに手のひら静脈認証を使う（→P.33）
・Wakeup on LANを有効にする（→P.34）
・イベントログを確認する（→P.35）
・イベントログを消去する（→P.35）
・ご購入時の設定に戻す（→P.36）

2.3.1　BIOSのパスワード機能を使う

■ パスワードの種類

本タブレットで設定できるパスワードは次のとおりです。

□管理者用パスワード （Supervisor Password）

システム管理者用のパスワードです。パスワード機能を使う場合は、必ず設定してください。

□ユーザー用パスワード （User Password）

一般利用者用のパスワードです。管理者用パスワードが設定されている場合のみ設定できます。ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合は、設定変更のできる項目が制限されます。制限された設定項目はグレー表示になり、変更できません。

POINT

- 管理者用パスワードが削除された場合、ユーザー用パスワードも削除されます。

□ハードディスクパスワード （Drive n Password）

※ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズは設定できません。
本タブレットのフラッシュメモリディスクを、他のユーザーが使用したり、他のコンピューターで使用したりできないようにするためのパスワードです。ARROWS Tab Rシリーズは、管理者用パスワードが設定されている場合のみ設定できます。

■ パスワードを設定／変更／削除する

重 要

- ハードディスクパスワードを設定する場合は、電源オフ状態から作業を開始してください。本タブレットを再起動してBIOSセットアップを起動した場合、ハードディスクパスワードを設定することはできません。
- 「管理者用パスワード」を変更するには、BIOSセットアップを「管理者用パスワード」で起動する必要があります。
- 「ユーザー用パスワード」を設定するには、「管理者用パスワード」が設定されている必要があります。
- 暗号化機能付フラッシュメモリディスク搭載機種の場合
  「暗号化機能付フラッシュメモリディスク」は、全データの暗号化および復号を自動的に行いますが、ハードディスクパスワードを設定していない場合はフラッシュメモリディスクへの不正なアクセスを防ぐことはできません。

1 ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV、Rシリーズでハードディスクパスワードを設定する場合は、次の操作を行います。

1. 本タブレットの電源が入っている場合は、電源を切ります。
   電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
2. BIOSセットアップを起動します（→P.23）。

2 「セキュリティ（Security）」メニューで次の項目をタップして選択し、「Enter」をタップします。

●管理者用パスワード／ユーザー用パスワードを設定する場合
・「管理者用パスワード設定（Set Supervisor Password）」
・「ユーザー用パスワード設定（Set User Password）」
●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVで ハードディスクパスワードを設定する場合
・「ハードディスクセキュリティ」の「ドライブn」の「マスターパスワード設定」
・「ハードディスクセキュリティ」の「ドライブn」の「ユーザーパスワード設定」

POINT

- ハードディスクの「マスターパスワード」を設定するためには、ハードディスクの「ユーザーパスワード」が設定されている必要があります。

●ARROWS Tab Rシリーズでハードディスクパスワードを設定する場合
・「Set Drive0 Password」

3 すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを入力します。

「新しいパスワードを入力してください（Enter New Password）」にカーソルが移ります。
「新しいパスワードを入力して下さい（Enter New Password）」をタップすると、スクリーンキーボードが表示されます。

4 新しいパスワード（1～32桁）を入力します。

パスワードを削除する場合は、何も入力せずに【Enter】キーを押します。
「新しいパスワードを確認してください（Confirm New Password）」にカーソルが移ります。

重 要

- ARROWS Tab Q／Rシリーズの場合、パスワードには、アルファベットと数字、記号および半角スペースを使用できます。
  大文字、小文字は区別されます。
  記号を入力する場合は、次の表をご覧ください。（表にない記号は使用できません。）
  ・キーボードの刻印どおりに入力します。

入力する記号	-	;	,	.	/

  ・【Shift】キーを押しながら対応するキーを押します。

入力したい記号	!	#	$	%	<	>	?
対応するキー	1	3	4	5	,	.	/

  - スクリーンキーボードで入力する場合、【Shift】キーをタップしてから入力したい記号をスクリーンキーボードの表示どおりに入力します。
- ARROWS Tab Vシリーズの場合、パスワードには、アルファベットと数字を使用できます。
  大文字、小文字は区別されます。
- 入力した文字は表示されず、代わりに「＊」が表示されます。
- 数字だけでなく英字を入れたり、定期的に変更したりするなど、第三者に推測されないように工夫してください。
- BIOSセットアップを「ユーザー用パスワード」で起動した場合、「ユーザー用パスワード」を削除できるのは「ユーザー用パスワード文字数」の設定が0のときだけです。0以外のときは、「パスワード文字数不足」のメッセージが表示されます。
- 本タブレットの修理が必要な場合は、必ずパスワードを解除してください。パスワードがかかった状態では、保証期間にかかわらず、修理は有償となります。

5 手順4で入力したパスワードをもう一度入力します。
「変更が保存されました。（Changes have been saved.）」と表示され、パスワードが変更されます。

POINT

- 再入力したパスワードが間違っていた場合は、警告メッセージが表示されます。
  「Enter」をタップしてウィンドウを消去し、手順4からやり直してください。

6 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）

■ パスワードを使用する

設定したパスワードは、BIOSセットアップの設定により、次の場合に入力が必要になります。

POINT

- パスワード入力時にスクリーンキーボードが表示されます。
- 誤ったパスワードを3回入力すると、エラーメッセージが表示されて警告音が鳴ります。この場合は、電源ボタンを4秒以上（ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合は10秒以上）押して本タブレットの電源を切ってください。その後、10秒以上待ってからもう一度電源を入れて、正しいパスワードを入力してください。

● 管理者用パスワード／ユーザー用パスワード
・BIOSセットアップを起動するとき
・本タブレットを起動するとき
・休止状態からレジュームするとき

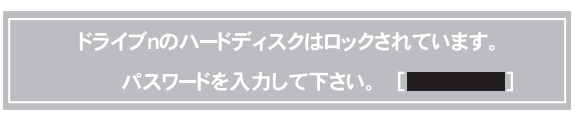
次の入力画面が表示されたら、管理者用パスワードまたはユーザー用パスワードを入力してください。

◇ARROWS Tab Q／Vシリーズの場合

◇ARROWS Tab Rシリーズ の場合

- ハードディスクパスワード
・本タブレットを起動するとき
次の入力画面が表示されたら、対応するドライブのハードディスクパスワードを入力してください。

◇ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合



◇ARROWS Tab Rシリーズ の場合

■ パスワードを忘れてしまったら

重 要

- ハードディスクパスワードは、盗難などによる不正使用を防止することを目的とした強固なセキュリティです。ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、修理をしてもフラッシュメモリディスク内のデータやプログラムは復元できず、消失してしまいます。パスワードの管理には充分ご注意ください。

□対処が可能な場合

- ユーザー用パスワードを忘れてしまった
管理者用パスワードを削除すると、ユーザー用パスワードも削除されます。
- ハードディスク用ユーザーパスワードを忘れてしまった
ハードディスク用マスターパスワードが設定されている場合のみ、マスターパスワードを削除するとユーザーパスワードも削除されます。
マスターパスワードを設定していなかった場合は、修理が必要です。修理は保証期間にかかわらず、有償になります。

□対処が不可能な場合

次の場合は、修理が必要です。「富士通ハードウェア修理相談センター」またはご購入元にご連絡ください。修理は保証期間にかかわらず、有償になります。

- 管理者用パスワードを忘れてしまった
- ハードディスク用マスターパスワードを忘れてしまった

2.3.2　起動デバイスを変更する

本タブレットの起動時にOSを読み込むデバイスの順序は、「起動（Boot）」メニューの「起動デバイスの優先順位（Boot Priority Order）」で設定します。
「起動デバイスの優先順位（Boot Priority Order）」に設定されている順にOSを検索します。
変更したデバイスの順序は、再起動後に反映されます。

1. 「起動（Boot）」メニューをタップします。
2. 優先順位を変更したいデバイスをタップして選択します。
3. 次の項目をタップして、優先順位を変更します。

「+」	選択したデバイスを1つ上に移動します。
「−」	選択したデバイスを1つ下に移動します。
「Shift + 1」	選択したデバイスを有効または無効に設定します。

4. 「起動デバイスの優先順位（Boot Priority Order）」が希望する順番になるまで、手順2～3を繰り返します。
5. 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）

2.3.3　セキュリティチップの設定を変更する

対 象　ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV、Rシリーズ

■ セキュリティチップを有効／無効にする

1. 「セキュリティ（Security）」メニューをタップします。
2. 「TPM（セキュリティチップ）設定（TPM (Security Chip) Setting）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
3. 「セキュリティチップ（Security Chip）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
確認画面が表示されます。
4. 「使用する（Enabled）」または「使用しない（Disabled）」をタップします。
5. 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）

POINT

- セキュリティチップの設定変更は、再起動後に反映されます。

■ セキュリティチップをクリアする

重 要

- セキュリティチップをクリアすると、セキュリティチップで保護されたデータなどは利用できなくなります。
  セキュリティチップをクリアする前に保護を解除してください。

1 「セキュリティ（Security）」メニューをタップします。

2 「TPM（セキュリティチップ）設定（TPM (Security Chip) Setting）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。

3 「セキュリティチップのクリア（Clear Security Chip）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
確認画面が表示されます。

4 「はい（Yes）」をタップします。

5 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）

POINT

- セキュリティチップのクリアは、再起動後に反映されます。

■ ソフトウェアからの変更を反映する

Windows上のソフトウェアを使ってセキュリティチップの状態を変更する場合、本タブレットの再起動後に、変更が有効になっていることがあります。
再起動を要求するメッセージが表示されたら、次の手順に従って操作してください。

1 本タブレットの電源を入れるまたは再起動します。
起動時の自己診断が実行された後、TPM設定変更の確認画面が表示されます。

2 次の操作を行います。
●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合
1.「はい」をタップします。
●ARROWS Tab Rシリーズの場合
1. ボリュームアップボタンを押します。
セキュリティチップの状態が変更されます。

2.3.4　パスワードの代わりに指紋認証を使う

対 象　指紋センサー搭載機種

パスワードを入力する代わりに、指紋センサーを使用して本タブレットの起動時の認証を行うことができます。次の手順で設定を変更してください。

1. 管理者用パスワードとユーザー用パスワードを設定します。
   「BIOSのパスワード機能を使う」（→P.27）
2. 「起動時のパスワード」を「毎回」に設定します。
3. SMARTACCESSで指紋の登録と設定を行います。
   詳しくは『SMARTACCESSファーストステップガイド』をご覧ください。

POINT

- ハードディスクパスワードの代わりに指紋認証を使用することはできません。

2.3.5　パスワードの代わりに手のひら静脈認証を使う

対 象　手のひら静脈センサー搭載機種

手のひら静脈センサー搭載機種の場合、パスワードを入力する代わりに、手のひら静脈センサーを使用して本タブレットの起動時の認証を行うことができます。次の手順で設定を変更してください。

1. 管理者用パスワードとユーザー用パスワードを設定します。
   「2.3.1 BIOSのパスワード機能を使う」（→P.27）
2. 「起動時のパスワード」を「毎回」に設定します。
3. SMARTACCESSで手のひら静脈の登録と設定を行います。
   詳しくは『SMARTACCESSファーストステップガイド』をご覧ください。

POINT

- ハードディスクパスワードの代わりに手のひら静脈認証を使用することはできません。

2.3.6　Wakeup on LANを有効にする

対 象　キーボード・ドッキングステーション、クレードル使用時
（ARROWS Tab Vシリーズを除く）

WoL機能とは、他のコンピューターから有線LAN経由で本タブレットを起動・レジュームする機能です。WoL機能には、電源オフ状態から起動する機能と、省電力状態からレジュームする機能があります。ここでは、電源オフ状態から起動するための設定について説明します。
電源を切る方法については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
省電力状態からレジュームする機能については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「WoL機能によるレジュームの設定を変更する」をご覧ください。

1 「詳細（Advanced）」メニューをタップします。

2 「各種設定（Miscellaneous Configurations）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。

3 「LANによるウェイクアップ(Wake up on LAN)」をタップして選択し、「Enter」をタップします。

4 「使用する（Enabled）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。

5 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）
Windowsが起動します。続けて次の操作を行います。

6 次の操作を行います。
●Windows 10の場合
1.「スタート」ボタン→ ⚙(設定）→「システム」の順にタップします。
2. 画面左側のメニューで「電源とスリープ」をタップします。
3. 画面右側の関連設定の「電源の追加設定」をタップします。
●Windows 8.1の場合
1.「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.7）を表示します。
2.「ハードウェアとサウンド」→「電源オプション」の順にタップします。
「電源オプション」が表示されます。

7 ウィンドウ左の「スリープ解除のパスワード保護」、または「電源ボタンの動作を選択する」をタップします。

8 「現在利用可能ではない設定を変更します」をタップします。

9 「シャットダウン設定」の「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外します。

10 「変更の保存」をタップします。

2.3.7　イベントログを確認する

1. 「詳細（Advanced）」メニューをタップします。
2. 「イベントログ設定（Event Logging）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
3. 「イベントログの表示（View Event Log）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
   記録されているイベントログが表示されます。

イベントログに記録されるメッセージについては、「3.2.5 エラーメッセージ一覧」（→P.69）の「■BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージ」をご覧ください。

2.3.8　イベントログを消去する

1. 「詳細（Advanced）」メニューをタップします。
2. 「イベントログ設定（Event Logging）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
3. 「イベントログの消去（Clear All Event Logs）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
4. 「はい（Yes）」をタップします。
5. 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
   「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）

2.3.9　ご購入時の設定に戻す

1 「終了（Exit)」メニューをタップします。

2 「標準設定値を読み込む（Load Setup Defaults)」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
確認メッセージが表示されます。

3 「はい（Yes)」をタップします。
一部を除くすべての設定が、ご購入時の設定値に戻ります。
変更されない項目については、『BIOSセットアップメニュー 一覧』の「終了（Exit)」メニュー ―「標準設定値を読み込む（Load Setup Defaults）」備考欄「次の項目は対象外」をご覧ください。

4 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.25）

2.4 ME BIOS Extension

対 象　インテル® vPro™テクノロジー対応CPU搭載機種

お使いのタブレットにインテル® vPro™テクノロジー対応CPUが搭載されている場合は、インテル® AMT機能などを提供するIntel® ME（Management Engine）BIOS Extensionが搭載されています。ここでは、ME BIOS Extensionの設定を行うMEセットアップについて説明します。

POINT

- 搭載されているCPUが「インテル® vPro™テクノロジー」に対応しているかは、『製品ガイド（機種別編）』の「5章 仕様」―「本体仕様」をご覧になり、確認してください。

MEセットアップは、本タブレットにおいて動作確認済みの管理ソフトウェアを搭載している場合のみ、管理ソフトウェアのマニュアルに従って設定してください。AMT機能などをお使いにならない場合は、初期パスワードのみ変更してください。本タブレットご購入時のパスワードのままでいると、第三者にAMT機能などを使用されるおそれがあります。

重 要

- BIOSセットアップの「詳細（Advanced）」メニューの「互換性サポートモジュール（CSM）」を「使用する（Enabled）」に設定している場合、【Ctrl】＋【Alt】＋【F1】キーを押したまま本タブレットの電源を入れると、Remote Assistanceをご利用になることができます。Windowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
  通常は、本機能をお使いになれませんので操作しないでください。
  なお、本機能をご利用になる場合は、管理者の指示に従ってください。
- 修理などによりメインボードを交換された場合は、パスワードを含むMEセットアップの設定値が出荷時の状態に戻る場合があります。その場合は、MEセットアップを設定し直してください。

2.4.1　初期パスワードを変更する

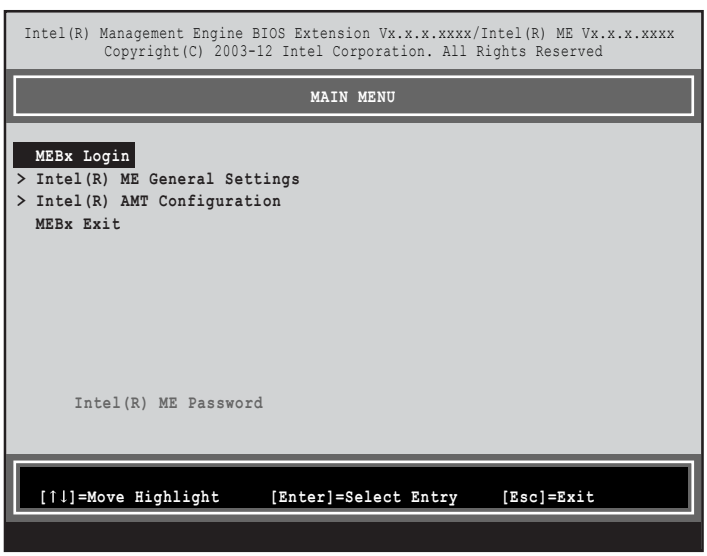
重 要

- パスワードは、必ず変更してください。ご購入時のパスワードのままでいると、第三者にAMT機能などを使用されるおそれがあります。
- 変更したパスワードを忘れるとMEセットアップの設定が変更できなくなります。その場合、BIOSセットアップの「詳細（Advanced）」メニューの「Intel(R) Management Engine設定（Intel(R) Management Engine Configurations）」の「Intel(R) ME 設定のクリア（Unconfigure Intel(R) ME）」でご購入時の状態に戻してから、パスワードを設定し直してください。

1 起動（Boot）メニューで「Intel(R) MEセットアップ（Intel(R) ME Setup）」を選択し、【Enter】キーを押します。

起動メニューについては、「2.2.5 起動メニューを使用する」（→P.26）をご覧ください。

MEセットアップログイン画面が表示されます。



POINT

- BIOSセットアップの「詳細（Advanced）」メニューの「互換性サポートモジュール（CSM）」を「使用する（Enabled）」に設定している場合、【Ctrl】＋【P】キーを押したまま本タブレットの電源を入れると、「Intel(R) Management Engine BIOS Extension」メニューに入ることもできます。Windowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
- BIOSセットアップの「詳細（Advanced）」メニューの「Intel(R) Management Engine設定（Intel(R) Management Engine Configurations）」の「Intel(R) MEセットアップ（Intel(R) ME Setup）」の「Enter」を押すことにより、次回起動時「Intel(R) Management Engine BIOS Extension」メニューに入ることもできます。BIOSセットアップについては、「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.23）をご覧ください。

2 「MEBx Login」を選択し、【Enter】キーを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

3 「admin」と入力し、【Enter】キーを押します。
出荷時のパスワードは「admin」に設定されています。

POINT

- 「Invalid Password - Try Again」と表示された場合、入力したパスワードが間違っています。【Enter】キーを押してメッセージを消去し、Caps Lockがオフになっていることを確認して、手順2からやり直してください。
- パスワードを3回間違えると「Max password attempts exceeded, system will reboot」と表示され、【Enter】キーを押すと本タブレットが再起動します。手順1からやり直してください。

4 「Intel(R) ME New Password」と表示されたら、新しいパスワードを入力し、【Enter】キーを押します。
パスワードは、次の条件をすべて満たすもので設定してください。
・8文字以上32文字以下
・1文字以上の数字を含む
・1文字以上の特殊文字（例：@、$、&）を含む
・1文字以上の小文字のアルファベットを含む
・1文字以上の大文字のアルファベットを含む

POINT

- MEセットアップでは、次のような特殊文字をキーボードの刻印どおりに入力することはできません。
  ・次の文字を入力する場合は、対応するキーを単独で押してください。

入力する文字	=	[	]	'	＼
対応するキー	^	@	[	:	]

  ・次の文字を入力する場合は、【Shift】キーを押しながら対応するキーを押してください。

入力する文字	@	^	&	*	(	)	_	+	{	}	:	"	|
対応するキー	2	6	7	8	9	0	-	^	@	[	;	:	]

- 「:」「,」「"」は使用できません。また、「_」および「 」（スペース）は使用できますが特殊文字の条件を満たしません。

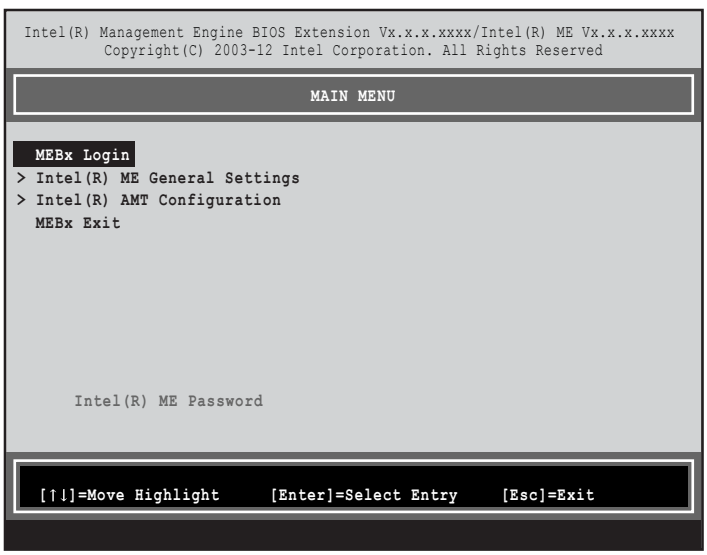
5 「Verify password」と表示されたら、手順4で入力したパスワードを再度入力し、【Enter】キーを押します。

POINT

- 「Error applying new password」と表示された場合、新しいパスワードが手順4の条件を満たしていません。文字数と使用している文字を確認して、手順2からやり直してください。
- 「Password Mismatch - Abort Change」と表示された場合、手順4と手順5で入力したパスワードが一致していません。【Enter】キーを押してエラーメッセージを消去し、Caps Lockがオフになっていることを確認して、手順2からやり直してください。

2.4.2　MEセットアップを起動する

1 起動（Boot）メニューで「Intel(R) MEセットアップ（Intel(R) ME Setup)」を選択し、【Enter】キーを押します。
起動メニューについては、「2.2.5 起動メニューを使用する」（→P.26）をご覧ください。
MEセットアップログイン画面が表示されます。

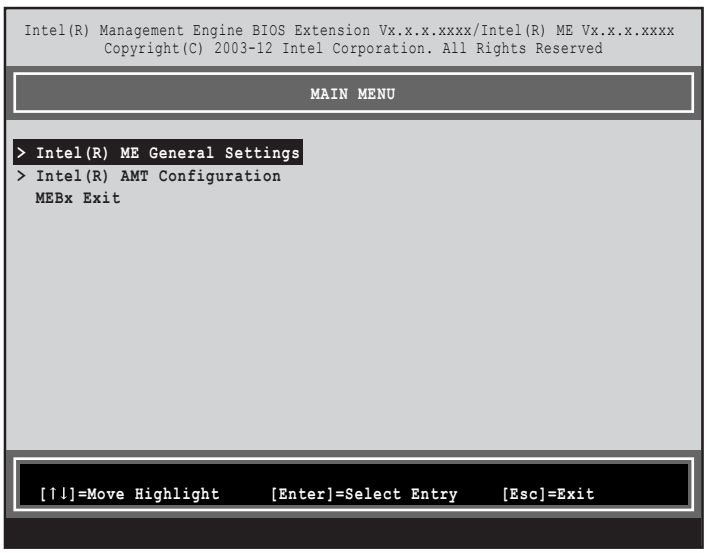


POINT

- BIOSセットアップの「詳細（Advanced)」メニューの「互換性サポートモジュール（CSM)」を「使用する（Enabled)」に設定している場合、【Ctrl】＋【P】キーを押したまま本タブレットの電源を入れると、「Intel(R) Management Engine BIOS Extension」メニューに入ることもできます。Windowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編)』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
- BIOSセットアップの「詳細（Advanced)」メニューの「Intel(R) Management Engine設定（Intel(R) Management Engine Configurations）」の「Intel(R) MEセットアップ(Intel(R) ME Setup)」の「Enter」を押すことにより、次回起動時「Intel(R) Management Engine BIOS Extension」メニューに入ることもできます。BIOSセットアップについては、「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.23）をご覧ください。

2 「MEBx Login」を選択し、【Enter】キーを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、【Enter】キーを押します。
MEセットアップ画面が表示されます。



重 要

- MEセットアップを初めて起動したときは、パスワードの変更画面が表示されます。ご購入時のパスワードを変更しないと、MEセットアップは利用できません。パスワードの変更については、「2.4.1 初期パスワードを変更する」（→P.38）をご覧ください。

4 画面上部のメニューからME BIOS Extensionの設定を行います。

2.4.3　MEセットアップを終了する

1 「MAIN MENU」を表示します。
「MAIN MENU」が表示されるまで【Esc】キーを押してください。

2 カーソルキーで「MEBx Exit」を選択し、【Enter】キーを押します。

3 「Are you sure you want to exit? (Y/N)」と表示されたら、【Y】キーを押します。
MEセットアップが終了し、OSが起動します。

2.4.4　メニュー詳細

ここでは、MEセットアップの主なメニュー項目について説明します。

■「Intel(R) ME General Settings」 メニュー

設定項目	備考
Change ME Password[注]	MEセットアップのパスワードを変更します。 パスワード入力画面でパスワードを入力後、「2.4.1 初期パスワードを変更する」（→P.38）の手順4以降をご覧になり、パスワードを変更してください。

注 ： パスワードは定期的に変更するなど、第三者に漏れないように充分に注意して管理してください。

■「Intel(R) AMT Configuration」 メニュー

設定項目		備考
Manageability Feature Selection		本機能を使用しない場合は「Disabled」に設定します。
Network Setup		MEのネットワーク設定を変更します。お客様の環境にあわせて設定してください。
Activate Network Access [注1]		ネットワークアクセスを有効にし、MEのネットワークインターフェースを使用可能にします。
Unconfigure Network Access		
	Full Unprovision	ネットワークアクセスを無効にし、すべてのネットワーク設定をご購入時の状態に戻します。
	Partial Unprovision	・ネットワーク設定を残したまま、ネットワークアクセスを無効にします。 ・ネットワークアクセスが有効になっている場合のみ表示されます。
Power Control[注2]		
	Intel(R) AMT ON in Host Sleep States □Mobile: ON in S0 ■Mobile: ON in S0, ME Wake in S3, S4-5 (AC only)	省電力状態（スリープ、休止状態）や電源オフ状態におけるAMT機能の有効／無効を設定します。 ・Mobile: ON in S0 本タブレットが動作状態のときにのみAMT機能が有効になります。 ・Mobile: ON in S0, ME Wake in S3, S4-5（AC only） 本タブレットが動作状態、ACアダプタ接続時の省電力状態および電源オフの状態のときにAMT機能が有効になります。
	Idle Timeout [注3]	「Intel(R) AMT ON in Host Sleep States」が「Mobile: ON in S0, ME Wake in S3, S4-5（AC only)」のとき、本タブレットが省電力状態または電源オフに移行してからMEへのアクセスがない場合、MEが待機状態になるまでの時間を分単位で設定します。

注1：・「Activate Network Access」を実行しない場合、「Network Setup」で設定した内容は有効になりません。
・「Activate Network Access」を実行した後は、本メニューは表示されなくなります。
注2：「Activate Network Access」を実行した後、本メニュー設定は有効になります。
注3： 本設定を変更すると一部の管理ソフトウェアで正常に動作しなくなる場合があります。管理ソフトウェアにて動作が確認できている場合のみ、管理ソフトウェアのマニュアルに従って設定してください。

3

第3章
トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

3.1 トラブル発生時の基本操作 44
3.2 よくあるトラブルと解決方法 49
3.3 それでも解決できないときは 76

3.1　トラブル発生時の基本操作

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

3.1.1　状況を確認する

トラブルが発生したときは、直前に行った操作や現在のタブレットの状況を確認しましょう。

■ メッセージなどが表示されたら控えておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモ帳などに控えておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■ タブレットや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まずタブレットや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？また緩んだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- OAタップを使用している場合、OAタップ自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源はすべて入っていますか？
  ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（サーバー本体やハブなど）の接続や電源も確認してください。
- クレードルに周辺機器を接続している場合、ACアダプタをクレードルに接続していますか？
- キーボード・ドッキングステーション、スリムキーボード、カバーキーボード使用時、キーボードの上にものを載せていませんか？
  キーが押され、タブレットが正常に動作しないことがあります。

この他、「3.2.2 起動・終了時のトラブル」（→P.51）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

3.1.2　以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやソフトウェアのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

- 周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- ソフトウェアをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、インターネット上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください。
発生したトラブルに該当する記述があれば、指示に従ってください。

3.1.3　トラブルシューティングで調べる

「3.2 よくあるトラブルと解決方法」（→P.49）は、よくあるトラブルの解決方法が記載されています。発生したトラブルの解決方法がないかご覧ください。

3.1.4　Windowsのヘルプで調べる

Windowsの機能については、Windowsのヘルプをご覧ください。

3.1.5　インターネットで調べる

よくあるQA一覧ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/qalist/index.html）では、本タブレットで発生したトラブルの解決方法を提供しています。
また、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html）では、本タブレットに関連したサポート情報や更新されたドライバーを提供しています。
注意事項や補足情報も公開していますので、解決方法がないかご覧ください。

3.1.6　診断プログラムを使用する

診断プログラムを使用して、ハードウェアに障害が発生していないか診断してください。
まずBIOSの起動メニューにある診断プログラムで簡単に診断し、異常が発見されなければ続けて「富士通ハードウェア診断ツール」でデバイスを選んで詳しく診断します。
診断後にエラーコードが表示された場合は控えておき、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。
診断時間は5～10分程度ですが、診断する内容やタブレットの環境によっては長時間かかる場合があります。

重 要

- 診断プログラムを使用する場合は、完全に電源を切った状態から操作してください。
  電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
- BIOSの設定をご購入時の状態に戻してください。
  診断プログラムを使用する前に、必ず、BIOSをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「2.3.9 ご購入時の設定に戻す」（→P.36）をご覧ください。
- 診断プログラムを使用する前に周辺機器を取り外してください。
  USBメモリや外付けハードディスクなど、ハードディスクやリムーバブルディスクと認識される周辺機器は、診断を行う前に取り外してください。

1 次の操作を行い、起動メニュー（Boot Menu）を表示します。

●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら、ボタンを離します。
   起動メニューが表示されます。

●ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. 起動メニューが表示されたら、ボタンを離します。

●ARROWS Tab Rシリーズの場合

1. ボリュームダウンボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. Boot Menuが表示されたら、ボタンを離します。

POINT

- BIOSセットアップの「セキュリティ（Security）」メニューの「起動メニュー（Boot Menu）」が「使用しない（Disabled）」の場合は、起動メニューを使用できません。その場合は、「使用する（Enabled）」に設定し直してください。
  BIOSセットアップについては、「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.23）をご覧ください。
- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
  指紋または手のひら静脈を登録した場合は、認証を行ってください。
- 起動メニュー（Boot Menu）が表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2 次の操作を行い、画面を切り替えます。

●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合
「Tab」をタップします。

●ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合
「メニュー切り替え」をタップします。

●ARROWS Tab Rシリーズの場合
画面右下の「[Tab]-Switch Menu」をタップします。

アプリケーションメニュー（Application Menu）が表示されます。

3 「診断プログラム（Diagnostic Program)」をタップして選択し、もう一度タップします。

「診断プログラムを実行しますか？（Do you want to run Diagnostic Program?)」と表示されます。

4 「実行（Run)」をタップします。

ハードウェア診断が始まります。
ハードウェア診断が終了したら、診断結果が表示されます。「再起動（Reboot)」をタップしてください。診断結果が表示される前に、自動的にタブレットが再起動する場合があります。

5 次の操作を行います。

●トラブルが検出されなかった場合
ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合はボリュームアップボタンを押し、ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、R／Vシリーズの場合は画面の「再起動（Reboot)」をタップしてください。続けて「富士通ハードウェア診断ツール」が起動します。
起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。手順6へ進んでください。

●トラブルが検出された場合
手順6以降の「富士通ハードウェア診断ツール」での診断は不要です。画面に表示された内容を控え、お問い合わせのときにお伝えください。その後、ボリュームアップボタンを押してタブレットの電源を切ってください。
電源が自動で切れない場合は、電源ボタンを押して電源を切ってください。

6 「注意事項」ウィンドウの内容を確認し、「OK」をタップします。

7 診断したいアイコンにチェックが付いていることを確認し、「実行（Execute)」をタップします。

ハードウェア診断が始まります。

POINT

- 「[ハードウェア名] に［媒体］をセットしてください」などと表示された場合、「リカバリデータディスク」や「リカバリ起動ディスク」または「トラブル解決ナビディスク」など、『リカバリガイド』に従って作成したディスクをセットしてください。音楽CDなどでは診断できない場合があります。
診断を取りやめる場合は、「スキップ」をタップしてください。

8 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。
表示された内容に従って操作してください。エラーコードが表示された場合には控えておき、お問い合わせのときにお伝えください。

9 「診断結果」ウィンドウで「閉じる（Close)」をタップします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

10 「終了（End)」をタップします。
「終了」ウィンドウが表示されます。

11 「はい（Yes)」をタップします。

3.1.7　サポートの窓口に相談する

本章をご覧になり、トラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、「3.3 それでも解決できないときは」（→P.76）をご覧になりサポートの窓口に相談してください。

3.2 よくあるトラブルと解決方法

3.2.1　トラブル一覧

■起動 ・ 終了時のトラブル

- 「電源が入らない」（→P.51）
- 「メッセージが表示された」（→P.52）
- 「画面に何も表示されない」（→P.52）
- 「Windowsが起動しない」（→P.54）
- 「Windowsが動かなくなってしまい、電源が切れない」（→P.54）

■Windows ・ ソフトウェア関連のトラブル

- 「Windowsにサインインできない」（→P.55）
- 「ソフトウェアが動かなくなってしまった」（→P.55）
- 「頻繁にフリーズするなど動作が不安定になる」（→P.55）
- 「タブレット本体の動作が鈍くなる」（→P.56）
- 「「デバイスマネージャー」に「不明なデバイス」がある」（→P.56）

■ハードウェア関連のトラブル

□BIOS

- 「BIOSで設定したパスワードを忘れてしまった」（→P.57）

□メモリ

- 「仮想メモリが足りない」（→P.57）

□LAN

- 「ネットワークに接続できない」（→P.58）
- 「通信速度が遅い」（→P.58）
- 「持ち運ぶと、接続が切断されたり不安定になったりする」（→P.59）

□Bluetoothワイヤレステクノロジー

- 「Bluetoothのキーボードやマウスの接続が切れやすい」（→P.60）

□フラッシュメモリディスク

- 「フラッシュメモリディスクのパフォーマンスが低下した」（→P.60）

□デバイス

- 「機器が使用できない」（→P.60）

□スマートカード （スマートカードスロット搭載機種）

- 「スマートカードが使えない」（→P.61）

□バッテリ

- 「バッテリが充電されない」（→P.61）
- 「「バッテリ残量が低下しています。充電してください。30秒後にシャットダウンします。」というメッセージが表示された」（→P.62）

□ディスプレイ

- 「画面に何も表示されない」（→P.62）
- 「表示が乱れる」（→P.63）
- 「画面がくもる、水滴が付く」（→P.63）

□サウンド

- 「スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」（→P.64）
- 「マイクからうまく録音ができない」（→P.64）

□キーボード ・ ドッキングステーション、 スリムキーボード、 カバーキーボード

- 「キーボードが動作しない」（→P.65）

□クレードル

- 「クレードルが動作しない」（→P.65）

□ポインティングデバイス

- 「マウスポインターが動かない、正しく動作しない」（→P.65）
- 「ペンが使えない」（→P.65）
- 「タッチパネルが使えない／タッチの誤入力が発生する」（→P.66）

□USB

- 「USBデバイスが使えない」（→P.66）
- 「USBデバイスが使えず、「デバイスマネージャー」で確認すると「!」が表示される」（→P.66）

□カメラ

- 「アウトWebカメラのフラッシュが暗くなった」（→P.67）

□その他

- 「「ジー」「キーン」という音がする」（→P.67）
- 「長期間使用しなかった後に電源を入れたら、日付と時刻が正しくない」（→P.67）
- 「「端末温度が上がりすぎているためカメラは使用しないでください。」というメッセージが表示される」（→P.67）
- 「「端末温度が上がりすぎているため画面輝度を制限します。温度が下がったときに制限解除されます。」というメッセージが表示され、画面が暗くなった」（→P.68）

3.2.2　起動・終了時のトラブル

Q 電源が入らない

- **ACアダプタは接続されていますか？**
  次のような場合には、ACアダプタを接続してください。
  ・ご購入後最初にお使いになる場合
  ・バッテリ運用時にバッテリが充電されていない場合
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「バッテリの残量を確認する」
  ・長期間未使用状態の場合
  ・クレードルを取り付けている場合は、タブレット本体ではなくクレードルのコネクタにACアダプタを接続してください。
- **ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVは、ACアダプタをいったん取り外してください。**
  ACアダプタをいったん取り外し、2～3分放置後、再び取り付けてください。
  それでも電源が入らない場合は、AC アダプタを取り外してからボリュームアップボタンを押しながらショートカットボタンを4 秒以上押してください。その後20 ～ 30 秒待ち、再度電源ボタンを押してください。電源が入らない場合は、この操作を 2～ 3 回繰り返してください。
- **ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SPは、ACアダプタを外し、強制終了スイッチを押してください。**
  ACアダプタを取り外してからUSB2.0コネクタ横にある強制終了スイッチを、クリップの先などで2～3秒押してください。
  この操作を行うと内蔵の時計がリセットされるので、日付と時刻を設定し直してください。設定のしかたについては「長期間使用しなかった後に電源を入れたら、日付と時刻が正しくない」（→P.67）をご覧ください。
- **ARROWS Tab Rシリーズは、ACアダプタを外し、リセットスイッチを押してください。**
  ACアダプタを取り外してからタブレット本体裏面にあるリセットスイッチを、クリップの先などで2～3秒押してください。
- **ARROWS Tab Vシリーズの場合、バッテリ残量が0%になっている可能性があります。**
  バッテリ残量が0%になっている可能性がるので、次の手順で充電をしてください。
  1. 電源ボタンを10秒以上押して電源を切ります。
  2. タブレット本体のUSB Type-Cコネクタに、添付のUSBケーブル（TypeA-TypeC）を接続します。

  しばらく充電してから、電源を入れてください。
- **電源スイッチのあるOAタップをお使いの場合、OAタップの電源は入っていますか？**

メッセージが表示された

- 電源を入れた後の自己診断（POST）時に、画面にメッセージが表示される場合があります。「3.2.5 エラーメッセージ一覧」（→P.69）の「■ 起動時に表示されるエラーメッセージ」で該当するメッセージを確認し、記載されている処置に従ってください。
  一部のメッセージはBIOSイベントログに記録され、BIOSセットアップから確認できます。「3.2.5 エラーメッセージ一覧」（→P.69）の「■ BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージ」をご覧ください。

上記の処置をしてもまだエラーメッセージが発生する場合は、本タブレットが故障している可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

画面に何も表示されない

- 次のことを確認してください。
  - 画面が暗すぎる
    次の手順で画面の明るさを調節してください。
    1. 通知領域の をタップします。
    2. のボタンをタップします。

    キーボード・ドッキングステーション、スリムキーボード、カバーキーボードをお使いの場合は、【Fn】＋【F6】キーまたは【Fn】＋【F7】キーを押して、明るさを調節することもできます。
  - ディスプレイのバックライトが消灯している
    画面をタップしてください。
  - スリープや休止状態になっている
    電源ボタンを押してください。
  - 上記の対処で解決しない場合
    電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。その後、10秒以上待ってから電源を入れてください。
    ARROWS Tab Rシリーズで電源ボタンを押しても電源が切れないときは、ACアダプタを取り外してからリセットスイッチを押してください。リセットスイッチについては『製品ガイド（機種別編）』の「1章 各部名称」をご覧ください。
    なお、保存されていない作業中のデータは失われます。

● 外部ディスプレイを使用している場合、次の項目を確認してください。

・タブレット本体の電源を入れる前に、外部ディスプレイの電源を入れていますか？
必ずタブレット本体の電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。
タブレット本体の電源を入れた後にディスプレイの電源を入れると、画面が表示されないことがあります。そのような場合は、いったん電源を切ってから入れ直してください。

・外部ディスプレイ出力に設定されていませんか？
外部ディスプレイだけに表示する設定になっていると、タブレット本体の液晶ディスプレイには表示されません。

・解像度やリフレッシュレートは、外部ディスプレイにあった設定になっていますか？
そのまま15秒程度待っても本タブレットの液晶ディスプレイが表示されない場合は、本タブレットを強制終了してください。その後、外部ディスプレイのケーブルを外してから電源を入れると、本タブレットの液晶ディスプレイに表示されます。『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「マルチディスプレイ機能」をご覧になり、お使いになる外部ディスプレイに合わせた設定値に変更してください。その後、外部ディスプレイの表示に切り替えてください。

POINT

- クローン表示の場合、解像度の設定が1366×768になっていると正常に表示できないことがあります。『製品ガイド（機種別編）』の「5章 仕様」―「クローン表示の解像度」に記載されている解像度に変更してください。

・クレードルのコネクタをお使いの場合（ARROWS Tab Vシリーズを除く）は、タブレットにクレードルが正しく取り付けられていることを確認してください。また、クレードルのDC-INコネクタにACアダプタが接続されていることを確認してください。クレードルを取り付けている場合は、タブレット本体ではなくクレードルのコネクタにディスプレイケーブルを接続してください。

Windowsが起動しない

- Windows 起動時に「スタートアップ修復」ウィンドウが表示された場合は、Windowsが起動するまでそのままお待ちください。
  Windowsを正常に終了できなかった場合、次回起動時に「スタートアップ修復」ウィンドウが表示され、Windowsの修復が行われることがあります。修復後は自動的に再起動されます。
- 次の認証デバイスのドライバーをアンインストールしましたか？
  ・指紋センサー
  ・手のひら静脈センサー／スライド式静脈センサー
  ・スマートカードスロット
  認証デバイスを使用してWindowsにサインインしている場合、その認証デバイスのドライバーをアンインストールするとWindowsが正常に起動できなくなります。
  認証デバイスのドライバーをアンインストールする場合は、「SMARTACCESS/Basic」をアンインストールした後で行うようにしてください。
  アンインストール方法については、『SMARTACCESS ファーストステップガイド』をご覧ください。
  Windowsが正常に起動できなくなった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」または、ご購入元にご連絡ください。
- OSを変更しましたか？
  OSを変更した場合、BIOSの設定も変更する必要があります。BIOSの設定については、『リカバリガイド』をご覧ください。

Windowsが動かなくなってしまい、電源が切れない

- 次の手順でWindowsを終了させてください。
  ・ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合
  1. 電源ボタンを押しながらボリュームダウンボタンを押します。
  2. 画面右下の「シャットダウン」アイコンをタップします。

  ・ARROWS Tab Rシリーズの場合
  1. Windowsボタンを押しながら電源ボタンを押します。
  2. 画面右下の「シャットダウン」アイコンをタップします。

  ・ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合
  1. 電源ボタンを10秒以上押します。

POINT

- ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV、Rシリーズの場合
  この操作で強制終了できないときは、電源ボタンを4秒以上押して電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れてください。

重 要

- 強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- 強制終了した場合は、フラッシュメモリディスクのチェックをお勧めします。

3.2.3　Windows・ソフトウェア関連のトラブル

ここでは、Windows、ソフトウェアに関連するトラブルを説明しています。トラブルにあわせてご覧ください。

Windowsにサインインできない

- 認証デバイスを忘れたり、紛失したり、破損したりして、Windowsにサインインできないときは、『SMARTACCESSファーストステップガイド』をご覧ください。

ソフトウェアが動かなくなってしまった

- 「タスクマネージャー」から、動かなくなったソフトウェアを強制終了してください。

POINT

- ソフトウェアを強制終了した場合、ソフトウェアでの作業内容を保存することはできません。
- ソフトウェアを強制終了した場合は、フラッシュメモリディスクのチェックをお勧めします。

頻繁にフリーズするなど動作が不安定になる

- 次の項目を確認してください。

・ウイルス対策ソフトウェアでフラッシュメモリディスクをスキャンする
定期的にフラッシュメモリディスクをスキャンすることをお勧めします。

・Cドライブの空き容量が充分か確認する
Windowsのシステムファイルが格納されているCドライブの空き容量が少ないと、Windowsの動作が不安定になることがあります。
Cドライブの空き容量が少ない場合は、空き容量を増やしてください。空き容量を増やすには次の方法があります。
・ごみ箱を空にする
・不要なファイルやソフトウェアを削除する
・ディスクのクリーンアップを行う

・フラッシュメモリディスクのエラーチェックを行う
それでもトラブルが頻繁に発生する場合は、リカバリを実行してください。詳しくは『リカバリガイド』をご覧ください。

タブレット本体の動作が鈍くなる

対 象　ARROWS Tab Vシリーズ

- 多くのアプリケーションを同時に使用している場合、タブレット本体の動作が鈍くなることがあります。
  不要なアプリケーションを終了させてください。

「デバイスマネージャー」に「不明なデバイス」がある

- 「FUJ0420 デバイスドライバー」および「FUJ02E3 デバイスドライバー」がインストールされていない可能性があります。
  「デバイスマネージャー」の「システムデバイス」に「Fujitsu FUJ0420 Device」および「Fujitsu FUJ02E3 Device Driver」が表示されているかを確認してください。
  表示されていない場合は、次の手順で「FUJ0420 デバイスドライバー」および「FUJ02E3 デバイスドライバー」をインストールしてください。
  1. 「ドライバーズディスク」をセットします。
     「ドライバーズディスク検索」が起動します。
  2. 「機種名」にお使いの機種を、「OS」にお使いのOSを設定します。
  3. 「種別」に「必須」を設定します。
  4. 「ソフトウェア」から「FUJ0420 デバイスドライバー」および「FUJ02E3 デバイスドライバー」を選択します。
  5. 「インストール方法の確認」をタップします。

  詳しくは、「ドライバーズディスク」に格納されている「readme.jp-JP.txt」をご覧ください。

POINT

- フラッシュメモリディスクに格納されているデータからドライバーをインストールすることもできます。インストール方法は、「1.2.1 「ドライバーズディスク検索」からのインストール」（→P.16）をご覧ください。

3.2.4　ハードウェア関連のトラブル

■ BIOS

BIOSで設定したパスワードを忘れてしまった

- 管理者用パスワードを忘れると、項目の変更やパスワード解除ができなくなります。
  ハードディスクパスワードを忘れると、フラッシュメモリディスクが使えなくなったり、フラッシュメモリディスクのセキュリティ機能を解除できなくなったりします。
  いずれの場合も修理が必要となります。
  ユーザー用パスワードを忘れた場合は、修理の必要はありません。
  詳しくは、「■ パスワードを忘れてしまったら」（→P.30）をご覧ください。

■ メモリ

仮想メモリが足りない

- 仮想メモリ（ページングファイル）を設定してください。
  仮想メモリの設定を行うには、仮想メモリの「最大サイズ」分の空き容量がフラッシュメモリディスクに必要です。
  ただし、ブートパーティション以外に設定する場合、あるいはページングファイルサイズが小さい場合などは、メモリダンプをファイルに出力できなくなります。ダンプファイルを取得するには、システムドライブに最低でも物理メモリ＋1MB（仮想メモリの容量は含まず）の空き容量が必要です。

POINT

- 搭載メモリサイズによっては、推奨サイズを設定できない場合があります。その場合は、ページングファイルを保存するドライブを変更してください。
- 仮想メモリを小さい値に設定した場合、性能に影響があります。最良のシステム効率を得るには、「初期サイズ」に、「すべてのドライブの総ページング ファイル サイズ」の「推奨」に表示されている数値以上の値を設定してください。システムの搭載メモリ総量の1.5倍の値に設定することをお勧めします。
  ただし、メモリを大量に消費するソフトウェアを定期的に使用する場合は、必要に応じてサイズを大きい値に設定してください。

仮想メモリのサイズは次の手順で変更します。

1. 次の操作を行います。
   ●Windows 10の場合
   1.「スタート」ボタン→（設定）→「システム」の順にタップします。
   2. 画面左側のメニューで「バージョン情報」をタップします。
   3. 画面右側の関連設定の「システム情報」をタップします。
   ●Windows 8.1の場合
   1.「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.7）を表示します。
   2.「システムとセキュリティ」→「システム」の順にタップします。
   「システム」が表示されます。

2. ウィンドウ左の「システムの詳細設定」をタップします。
3. 「パフォーマンス」の「設定」をタップします。
4. 「詳細設定」タブをタップし、「仮想メモリ」の「変更」をタップします。
    1. 「すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する」のチェックを外します。
    2. ページングファイルを保存するドライブを変更する場合は、「ドライブ」で保存するドライブをタップします。
       システムドライブに充分な空き容量がある場合は、ドライブの変更は必要ありません。
    3. 「カスタムサイズ」にチェックを付け、「初期サイズ」および「最大サイズ」を入力し、「設定」をタップします。
       「初期サイズ」には「すべてのドライブの総ページングファイルサイズ」に表示されている「推奨」の値より大きい値を設定してください。また、「最大サイズ」には「初期サイズ」に設定した値より大きい値を設定してください。
5. 「OK」をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。
6. 再起動のメッセージが表示された場合は、メッセージに従って本タブレットを再起動します。

■ LAN

Q ネットワークに接続できない

- **クレードルまたはLAN変換アダプタを接続している場合、ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？**
- **クレードルまたはLAN変換アダプタを接続している場合、ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。**
  ・ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
  ・使用するネットワーク環境に合ったケーブルを使っていますか？
- **クレードルをお使いの場合は、次の項目を確認してください。**
  ・タブレットとクレードルが正しく取り付けられていますか？
  ・クレードルのDC-INコネクタにACアダプタを接続してください。
  ・クレードルのLANコネクタにLANケーブルを接続してください。
- **無線WANおよび「機内モード」が「オフ」、「ワイヤレスデバイス」が「オン」に設定されていますか？**
  「機内モード」が「オン」、または「ワイヤレスデバイス」が「オフ」に設定されていると、電波が発信されません。設定方法については、『無線LANご利用ガイド』または『内蔵無線WANをお使いになる方へ』をご覧ください。

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

Q 通信速度が遅い

- **ネットワーク機器の電源を入れてから本タブレットの電源を入れてください。また、本タブレットの使用中にLANケーブルを抜いたり、ネットワーク機器の電源をオフにしたりしないでください。**
  ネットワーク機器との接続ができなくなったり、通信速度が極端に低下したりする場合が

あります。
例：1000Mbpsで通信していたのに10Mbpsの速度になる
ネットワーク機器との接続ができない場合は、ネットワーク機器の電源が入っていること、およびLANケーブルで本タブレットとネットワーク機器が接続されていることを確認後、タブレット本体を再起動してください。

- **節電機能が働いていませんか？**
  節電機能に対応したLANデバイスを搭載している機種の場合、Windowsの省電力機能によってディスプレイの電源が切れると、通信速度が下がります。
  これにより問題がある場合は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「有線LAN」をご覧になり、この機能を無効に設定してください。
- **クレードルやキーボード・ドッキングステーションとの接続が不安定になっていませんか？**
  一度取り外して、接続し直してみてください。状況が改善することがあります。

Q 持ち運ぶと、接続が切断されたり不安定になったりする

- **電波状態によってローミング（※）がうまく行われず、通信が切断されたり不安定になったりすることがあります。**
  （※）同じ設定をもった複数のアクセスポイント間の接続を切り替える仕組み。

  複数の無線LANアクセスポイントを同じSSID設定で使用している場合、タブレットの設置場所によってはローミングが頻繁に行われ接続が不安定になることがあります。
  この場合は、次の手順でローミングの設定を変更し、頻度を調整してください。

1. 次の操作を行います。
   ●Windows 10の場合
   1.「スタート」ボタン→ ⚙（設定）→「システム」の順にタップします。
   2. 画面左側のメニューで「バージョン情報」をタップします。
   3. 画面右側の関連設定の「デバイスマネージャー」をタップします。
   ●Windows 8.1の場合
   1.「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.7）を表示します。
   2.「システムとセキュリティ」→「システム」の順にタップします。
   3. 画面左側のメニューで「デバイスマネージャー」をタップします。
   「デバイスマネージャー」が表示されます。
2.「ネットワーク アダプター」をダブルタップして、お使いの無線LANデバイスをダブルタップします。
   デバイス名については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「無線LAN」をご覧になり、確認してください。
3.「詳細設定」タブをタップし、次のプロパティ内の設定を変更します。

プロパティ名	ローミングの積極性	
値 （選択）	最低	ローミングしにくく、現在のアクセスポイントとの接続を維持しようとする
	中	ご購入時の設定
	最高	ローミングしやすく、アクセスポイントの切り替えが発生しやすい

4.「OK」をタップします。

■ Bluetoothワイヤレステクノロジー

Bluetoothのキーボードやマウスの接続が切れやすい

- 次の手順で設定を変更してください。

1. 次の操作を行います。
   ●Windows 10の場合
   1.「スタート」ボタン→（設定）→「システム」の順にタップします。
   2. 画面左側のメニューで「バージョン情報」をタップします。
   3. 画面右側の関連設定の「デバイスマネージャー」をタップします。
   ●Windows 8.1の場合
   1.「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.7）を表示します。
   2.「システムとセキュリティ」→「システム」の順にタップします。
   3. 画面左側のメニューで「デバイスマネージャー」をタップします。
   「デバイスマネージャー」が表示されます。
2.「Bluetooth」をダブルタップし、「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」をダブルタップします。
3.「電源の管理」タブをタップし、「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外します。

■ フラッシュメモリディスク

フラッシュメモリディスクのパフォーマンスが低下した

- リカバリを実行すると、改善できる場合があります。
  「ハードディスクデータ消去」を実行した後に、リカバリを実行してください。
  フラッシュメモリディスク内のデータの消去手順については、「フラッシュメモリディスクデータ消去」（→P.79）をご覧ください。
  リカバリ方法については、『リカバリガイド』をご覧ください。

■ デバイス

機器が使用できない

- 「Portshutter Premium」のポート設定は、有効になっていますか？
  次の機器を搭載した機種では、情報漏えいや不正プログラムの導入を防ぐために、「Portshutter Premium」を使用して接続ポートを無効に設定している場合があります。
  システム管理者に確認してください。
  ・USB（Webカメラなど内蔵USBデバイスを含む）
  ・microSDカード

■ スマートカード （スマートカードスロット搭載機種）

Q スマートカードが使えない

- スマートカードが正しくセットされていますか？
- 「Portshutter Premium」のUSB設定は、有効になっていますか？（→P.60）

■ バッテリ

Q バッテリが充電されない

- **ACアダプタは接続されていますか？**
  ACアダプタを接続している場合は、コンセントおよびタブレット本体に正しく接続されているか確認してください。
- **バッテリが熱くなっていませんか？（ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV、Rシリーズの場合）**
  バッテリ充電ランプが点滅します。
  周囲の温度が高いときや使用中にバッテリの温度が上昇すると、バッテリの保護機能が働いて、充電を中止することがあります。
- **タブレット本体が冷えていませんか？（ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PV、Rシリーズの場合）**
  バッテリ充電ランプが点滅します。
  バッテリの温度が5℃以下になっていると、バッテリの保護機能が働いて、充電を中止することがあります。
  本体が10℃以下になるとバッテリの充電に時間がかかることがあります。
- **タブレット本体が熱くなっていませんか？（ARROWS Tab Vシリーズの場合）**
  周囲の温度が高いときや使用中にタブレット本体の温度が上昇すると、バッテリの保護機能が働いて、充電を中止することがあります。
- **キーボード・ドッキングステーション接続時に、タブレット本体のバッテリ残量が0%になっていませんか？**
  タブレット本体のバッテリ残量が0%になった場合は、タブレット本体にACアダプタを接続して、充電してください。
  キーボード・ドッキングステーション側にACアダプタを接続すると、充電できない場合があります。
- **バッテリの残量が90%以上（ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SPの場合は95%以上）ではありませんか？**
  バッテリの残量が90%以上（ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SPの場合は95%以上）の場合は、バッテリを保護するため、充電が始まりません。
  バッテリの残量が少なくなると自動的に充電が始まります。

● 短い間隔でバッテリ充電ランプが赤色またはオレンジ色に点滅していませんか？
バッテリが正しく充電されていません。次の操作を行ってください。
・ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合
電源を切ってから、ショートカットボタンとボリュームアップボタンを同時に4秒以上押し続けてください。
・ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SPの場合
電源を切ってから、強制終了スイッチを1秒以上押し続けてください。
・ARROWS Tab Rシリーズの場合
電源を切ってから、リセットスイッチを1秒以上押し続けてください。
・ARROWS Tab Vシリーズの場合
充電ケーブルを接続し直して、もう一度充電してください。

それでも状態が変わらない場合はバッテリが異常です。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

Q 「バッテリ残量が低下しています。充電してください。30秒後にシャットダウンします。」というメッセージが表示された

対 象　ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズ

● バッテリ残量が少ないため、シャットダウン後すぐに電源が入らない場合があります。
しばらくの間充電をしてから、電源を入れ直してください。

■ ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

● 「3.2.2 起動・終了時のトラブル」（→P.51）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」をご覧ください。
● 省電力状態になっていませんか？
本タブレットには省電力機能が設定されており、一定時間入力がないと省電力状態に移行します。
詳しくは『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「省電力」をご覧ください。

表示が乱れる

- 解像度、発色数、リフレッシュレートが正しく設定されていますか？
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「解像度を変更する」をご覧になり、正しく設定してください。
  外部ディスプレイの場合は、外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- ソフトウェアを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、次の手順でウィンドウを再表示してください。
  1. ソフトウェアを最小化します。
  2. 最小化したソフトウェアを元のサイズに戻します。

POINT

- 次のような場合に表示が乱れることがありますが、動作上は問題ありません。
  ・Windows起動時および画面の切り替え時
  ・DirectXを使用した一部のソフトウェア使用時

- 近くにテレビなどの強い磁界が発生するものがありませんか？
  強い磁界が発生するものは、ディスプレイやタブレット本体から離して置いてください。
- ドライバーが正しくインストールされていますか？
  「1.2 インストール」（→P.16）をご覧になり、ディスプレイドライバーを再インストールしてください。

画面がくもる、水滴が付く

- 急激な温度・湿度変化で結露が発生することがあります。
  結露が発生した場合は、電源を切り、風通りの良い場所に設置し、結露が乾いた後にお使いください。設置場所については『取扱説明書』をご覧ください。

■ サウンド

スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

- 内蔵スピーカーに関して、次の項目を確認してください。
  ・スピーカーの出力はONになっていますか？
  スピーカーの出力を確認してください。
  ・マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子（ARROWS Tab Q／Rシリーズ）、ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子（ARROWS Tab Vシリーズ）にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
- 外付けスピーカーに関して、次の項目を確認してください。
  ・タブレット本体と正しく接続されていますか？
  ・スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか？
  ・スピーカーの電源ボタンは入っていますか？
  ・音量ボリュームは正しく調節されていますか？
  ・マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子（ARROWS Tab Q／Rシリーズ）、ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子（ARROWS Tab Vシリーズ）にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
- ミュートや音量などを確認してください。
  詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「サウンド」をご覧ください。
- 音が割れる場合は、音量を小さくしてください。
- オーディオ端子の機能が正しく設定されていますか？
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「オーディオ端子の機能を切り替える」をご覧になり、オーディオ端子の機能を正しく切り替えてください。
- サウンドドライバーが正しくインストールされていますか？
  必要に応じて、「1.2 インストール」（→P.16）をご覧になり、再インストールしてください。
- ARROWS Tab Vシリーズの場合、マナーモードが設定されていませんか？
  マナーモードが設定されていると、スピーカーから音が出ません。
  詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「通信」―「マナーモード」をご覧ください。

マイクからうまく録音ができない

- 音量は調節されていますか？
  音量を設定するウィンドウで録音の項目を有効にし、音量を調節してください。詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「サウンド」をご覧ください。
- オーディオ端子の機能が正しく設定されていますか？
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「オーディオ端子の機能を切り替える」をご覧になり、オーディオ端子の機能を正しく切り替えてください。

■ キーボード ・ ドッキングステーション、 スリムキーボード、カバーキーボード

Q キーボードが動作しない

- キーボード・ドッキングステーション、スリムキーボードおよびカバーキーボードは正しく接続されていますか？
  キーボード・ドッキングステーション、スリムキーボードおよびカバーキーボードを一度取り外し、接続し直してください。
- コネクタ部が汚れていませんか？
  タブレット本体の接続コネクタ部を、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ クレードル

Q クレードルが動作しない

- ACアダプタが接続されていますか？
  ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。また、ACアダプタはタブレット本体に添付のACアダプタをお使いください。

■ ポインティングデバイス

Q マウスポインターが動かない、正しく動作しない

- キーボード・ドッキングステーション、スリムキーボードおよびカバーキーボードを接続している場合、フラットポイントが無効に設定されていませんか？
  ご購入時はマウスを接続するとフラットポイントが無効になるように設定されています。フラットポイントの有効と無効を切り替えるには、【Fn】＋【F4】キーを押してください。【Fn】＋【F4】キーを押すたびに切り替わります。
- キーボード・ドッキングステーション、スリムキーボードおよびカバーキーボードを接続している場合、手のひらや袖口がフラットポイントに触れていませんか？
  フラットポイントから手のひらや袖口を充分に離してください。
  それでも正しく動作しない場合は、フラットポイントの設定を変更することで改善することがあります。フラットポイントの設定方法については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「フラットポイントの設定を変更する」をご覧ください。

Q ペンが使えない

- ペンの先が画面に充分に付いていない場合、正しく操作が認識されないことがあります。添付のペンを用いて、画面に充分に付けて操作をしてください。

タッチパネルが使えない／タッチの誤入力が発生する

- 次のような状況では、タッチパネルがタッチ入力を誤検出する場合があります。
  ・大きな電力を必要とする機器の近くなど電源ノイズの多い場所でお使いになる場合や、環境の変化（温度や使用する電源や電波環境など）が生じた場合
  このような場合には、バッテリでの運用またはその場を離れて操作するか、タッチの調整を行ってください。
- タッチパネルの調整は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「キャリブレーション」および「タッチパネルの設定を変更する」をご覧ください。

■ USB

USBデバイスが使えない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- クレードルのコネクタをお使いの場合、タブレットにクレードルが正しく取り付けられていますか？
  また、クレードルのDC-INコネクタにACアダプタが接続されていますか？
- USBデバイスがUSBハブを経由して接続されていませんか？
  USBハブを経由すると問題が発生する場合があります。USBデバイスを本体のUSBコネクタに直接接続してみてください。
- USBデバイスに不具合はありませんか？
  USBデバイスに不具合がある場合、Windowsが正常に動作しなくなることがあります。タブレットを再起動して、USBデバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USBデバイスのご購入元にご連絡ください。
- 「Portshutter Premium」のUSB設定は、有効になっていますか？（→P.60）
- USB3.0コネクタにUSB3.0に対応していないUSBデバイスを接続していませんか？
  USB3.0コネクタにはUSB3.0に対応したUSBデバイスの接続をお勧めします。

USBデバイスが使えず、「デバイスマネージャー」で確認すると「!」が表示される

- デバイスドライバーに問題はありませんか？インストールされていますか？
  必要なドライバーをインストールしてください。
- 「Portshutter Premium」のUSB設定は、有効になっていますか？（→P.60）

■ カメラ

Q アウトWebカメラのフラッシュが暗くなった

対 象　ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP

- バッテリ残量が少ない状態では、アウトWebカメラでの写真撮影時のフラッシュの明るさが暗くなります。
  本タブレットの充電をしてください。

■ その他

Q 「ジー」「キーン」という音がする

- 静かな場所では、「ジー」、「キーン」というタブレット本体内部の電子回路の動作音が聞こえる場合があります。
  故障ではありませんので、そのままお使いください。
  BIOSセットアップの「詳細」メニューの「各種設定」に「ハードウェア省電力機能」が表示されている機種の場合、「ハードウェア省電力機能」配下にある項目の設定を変更すると、音の聞こえ方が変わる場合があります。

Q 長期間使用しなかった後に電源を入れたら、日付と時刻が正しくない

対 象　ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP

- バッテリ残量がゼロになったため、内蔵の時計がリセットされています。
  次の手順で日付と時刻を設定し直してください。
  1. デスクトップ画面右下の通知領域にある「時刻」をタップします。
  2. 「日付と時刻の設定の変更」をタップします。
  3. 「日付と時刻」タブの「日付と時刻の変更」をタップし、表示された画面で設定を変更します。

Q 「端末温度が上がりすぎているためカメラは使用しないでください。」というメッセージが表示される

対 象　ARROWS Tab Vシリーズ

- タブレットの温度が高くなると表示されます。
  温度が下がるまで、カメラを使用しないでください。

「端末温度が上がりすぎているため画面輝度を制限します。温度が下がったときに制限解除されます。」というメッセージが表示され、画面が暗くなった

対 象　ARROWS Tab Vシリーズ

- タブレットの温度が高くなると表示され、画面の輝度が下がります。
  タブレットの温度が下がると、元の輝度に戻ります。

3.2.5　エラーメッセージ一覧

ここでは、本タブレットが表示するメッセージと、その対処方法を説明しています。
エラーメッセージ一覧には、お使いのタブレットに搭載されているハードウェアによっては、表示されないメッセージも含まれています。
本書に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■ 起動時に表示されるエラーメッセージ

起動時の自己診断（POST）で異常がみつかった場合に表示されるメッセージは、次のとおりです。
BIOSセットアップメニューについては、『BIOSセットアップメニュー 一覧』をご覧ください。

□ARROWS Tab Q737/R、 Q737/R-PVの場合

メッセージ	解説
記号	
＜F1/Volume-UP＞キーを押すと継続、＜F2/Volume-Down＞キーを押すとBIOSセットアップを起動します。	起動時の自己診断テストでエラーが発生したとき、OSを起動する前に本メッセージが表示されます。【F1】キーを押すと発生しているエラーを無視してOSの起動を開始し、【F2】キーを押すとBIOSセットアップを起動して設定を変更できます。
I	
Invalid system disk Replace the disk, and then press any key	フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。 フロッピーディスクを取り出して、何かキーを押してください。
N	
Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready	フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。 フロッピーディスクを取り出して、何かキーを押してください。
NTLDR is missing Press any key to restart	フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。 フロッピーディスクを取り出して、何かキーを押してください。
NVRAMデータが正しくありません。	NVRAMデータのテストでエラーが発見されたことを示しています。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
P	
PXE-T01:File not found	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバー上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバーを正しく設定するか、BIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「ネットワークサーバーからの起動」を、「使用しない」に設定してください。
PXE-E32:TFTP open timeout	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ネットワークブートに失敗しました。 ブートサーバーを正しく設定するか、BIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「ネットワークサーバーからの起動」を、「使用しない」に設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
PXE-E51: No DHCP or proxyDHCP offers were received	Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバーがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバーを正しく設定するか、BIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「ネットワークサーバーからの起動」を、「使用しない」に設定してください。
PXE-E53:No boot filename received	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバーがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバーを正しく設定するか、BIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「ネットワークサーバーからの起動」を、「使用しない」に設定してください。

メッセージ	解説
PXE-E61:Media test failure, Check cable	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。LANケーブルが正しく接続されていません。LANケーブルを正しく接続してください。それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
PXE-E78:Could not locate boot server	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバーがないか、正しく動作していません。ブートサーバーを正しく設定するか、BIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「ネットワークサーバーからの起動」を、「使用しない」に設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
PXE-E89:Could not download boot image	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバー上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバーを正しく設定するか、BIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「ネットワークサーバーからの起動」を、「使用しない」に設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
R	
Remove disks or other media. Press any key to restart	フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。 フロッピーディスクを取り出して、何かキーを押してください。
か	
起動可能なデバイスが見つかりませんでした。	OSがみつからなかった場合に表示されます。 BIOSセットアップでドライブが正しく設定されているか確認してください。また、セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ」メニューの「セキュアブート設定 」→「セキュアブート機能」を「使用しない」、「詳細」メニューの「起動設定」→「互換性サポートモジュール」を「使用する」に変更してください。
さ	
システムは使用できません。	スマートカードに登録されているBIOSロック用パスワードが、BIOSセットアップで設定した管理者用パスワードおよびユーザー用パスワードのどちらとも一致しない場合に表示されます。この場合、タブレット本体の電源を切ってください。
セキュアブートに失敗しました。 **アクセス拒否**	セキュアブートに対応していないOSから起動しようとしたときに表示されます。 セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ」メニューの「セキュアブート設定」→「セキュアブート機能」を「使用しない」、「詳細」メニューの「起動設定」→「互換性サポートモジュール」を「使用する」に変更してください。
前回の起動中にファンエラーが発生しました。	前回の起動時にファンエラーが発生したことを示しています。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
選択したデバイスから起動できませんでした。	起動メニューで選択された起動デバイスから、起動できなかった場合に表示されます。 起動デバイスが正しく接続されているか確認してください。また、セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ」メニューの「セキュアブート設定」→「セキュアブート機能」を「使用しない」、「詳細」メニューの「起動設定」→「互換性サポートモジュール」を「使用する」に変更してください。
は	
ファンエラー。システムの電源が切れます。	冷却用ファンのテストでエラーが発生したことを示しています。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
ら	
リアルタイムクロックのエラーです。日付と時刻の設定を確認してください。	リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。 日付と時刻を確認し、電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

□ARROWS Tab Q507/RB、 Q507/RE、 Q507/R-SP、 Vシリーズの場合

メッセージ	解説
N	
NVRAMデータが正しくありません。	NVRAMデータのテストでエラーが発見されたことを示しています。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
O	
Operating system not found	OSがみつからなかったことを示しています。 BIOSセットアップの「起動」メニューの設定が正しいか、指定したドライブにOSが正しくインストールされているかを確認してください。
R	
Remove disks or other media. Press any key to restart	フロッピーディスクドライブに、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。 フロッピーディスクを取り出して、何かキーを押してください。
か	
起動可能なデバイスが見つかりませんでした。	OSがみつからなかった場合に表示されます。 BIOSセットアップでドライブが正しく設定されているか確認してください。また、セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ（Security）」メニューの「セキュアブート設定 」→「セキュアブート機能」を「使用しない」に変更してください。
さ	
セキュアブートに失敗しました。 **アクセス拒否**	セキュアブートに対応していないOSから起動しようとしたときに表示されます。 セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ（Security）」メニューの「セキュアブート設定」→「セキュアブート機能」を「使用しない」に変更してください。
選択したデバイスから起動できませんでした。	起動メニューで選択された起動デバイスから、起動できなかった場合に表示されます。 起動デバイスが正しく接続されているか確認してください。また、セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ（Security）」メニューの「セキュアブート設定」→「セキュアブート機能」を「使用しない」に変更してください。
は	
バッテリ残量が低下しています。 充電してください。30秒後にシャットダウンします。	バッテリの残量が少なくなった（4%以下）場合に表示されます。 メッセージを表示した30秒後に自動的に電源が切れるので、ACアダプタを接続して充電してください。 しばらくの間充電をしてから、電源を入れ直してください。
ら	
リアルタイムクロックのエラーです。 日付と時刻の設定を確認してください。	リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。 日付と時刻を確認し、電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

□ARROWS Tab Rシリーズの場合

メッセージ	解説
B	
Bootable Device was not found.	OSがみつからなかった場合に表示されます。 BIOSセットアップでドライブが正しく設定されているか確認してください。また、セキュアブートに対応していないOSから起動する場合は、BIOSセットアップの「セキュリティ（Security)」メニューの「Secure Boot Configurations 」→「Secure Boot Option」を「Disabled」、「Advanced」メニューの「CSM」を「Enabled」に変更してください。
F	
Fan Error, System shutdown in 30s. Contact Fujitsu tech support	冷却ファンのエラーが発生し、30秒以内にシステムがシャットダウンされます。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
I	
Invalid NVRAM Data	NVRAMデータのテストでエラーが発生したことを示しています。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
P	
Press <F1/VolumeDown(F12)> to resume, <F2/Volume Up(F2)> to Setup.	起動時の自己診断テストでエラーが発生したとき、OS を起動する前にこのメッセージが表示されます。ボリュームダウンボタン（−）を押すと発生しているエラーを無視して OS の起動を開始し、ボリュームアップボタン（+）を押すと BIOS セットアップを起動して設定を変更することができます。
R	
Real Time Clock Error - Check Data and Time settings	リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。 日付と時刻を確認し、電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■ BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージ

起動時の自己診断（POST）で、一部のエラーはBIOSイベントログに記録されます。
BIOSイベントログは、BIOSセットアップの「詳細（Advanced）」メニューの「イベントログ設定（Event Logging）」の「イベントログの表示（View Event Log）」から確認できます。
BIOSセットアップメニューについては、『BIOSセットアップメニュー 一覧』をご覧ください。
BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージは、次のとおりです。

□ARROWS Tab Q737/R、 Q737/R-PVの場合

メッセージ	解説
A	
ACアダプタ無しで起動されました	ACアダプタなしで起動されました。
P	
POSTエラー：CMOSチェックサム不正	CMOSのチェックサムに間違いが検出されました。BIOSセットアップの各設定を確認し、正しい値に設定し直してください。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、内蔵リチウム電池の交換が必要です。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：NVRAMを復旧した	フラッシュメモリのデータが破損し、バックアップデータにより復旧しました。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：NVRAMを復旧した（ヘッダー情報）	フラッシュメモリのデータが破損し、バックアップデータにより復旧しました。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：nnnnnnnn nnnnnnnn	nには数字が表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：キーボードエラー	キーボードテストでエラーが発生しました。 キーが押されたままになっていないか、またはキーボードが正しく接続されているか、確認してください。
POSTエラー：日付/時刻不正	日付、時刻が正しく設定されていません。 「システム時刻」「システム日付」の設定を確認してください。
あ	
イベントログがクリアされた	イベントログがクリアされました。
か	
強制終了が実行されました	強制終了が実行されました。
さ	
システム設定が変更された	システム設定が変更されました。
診断プログラムが異常を検出（詳細コード＝nnnnnnnn）	診断プログラム実行結果でエラーを検出しました。
は	
パスワード入力不正	誤ったパスワードが3回入力されました。
ファンエラーが発生した	ファンエラーが発生しました。 「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
ま	
メモリ容量が前回起動時から変更された	メモリ容量が前回起動時から変更されました。

□ARROWS Tab Q507/RB、 Q507/RE、 Q507/R-SP、 Vシリーズの場合

メッセージ	解説
A	
ACアダプタ無しで起動されました	ACアダプタなしで起動されました。
P	
POSTエラー：NVRAMを復旧した	フラッシュメモリのデータが破損し、バックアップデータにより復旧しました。なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：NVRAMを復旧した（ヘッダー情報）	フラッシュメモリのデータが破損し、バックアップデータにより復旧しました。なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：nnnnnnnn nnnnnnnn	nには数字が表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POSTエラー：日付/時刻不正	日付、時刻が正しく設定されていません。 「システム時刻」「システム日付」の設定を確認してください。
あ	
イベントログがクリアされた	イベントログがクリアされました。
か	
強制終了が実行されました	強制終了が実行されました。
さ	
システムが起動された	イベントログ設定の「イベントログ」を「保存する」に設定した場合に、起動ごとに記録されます。
システム設定が変更された	システム設定が変更されました。
診断プログラムが異常を検出（詳細コード＝nnnnnnnn）	診断プログラム実行結果でエラーを検出しました。
は	
パスワード入力不正	誤ったパスワードが3回入力されました。
バッテリなしで起動されました	対 象 ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP バッテリなしで起動されました。
ま	
メモリ容量が前回起動時から変更された	メモリ容量が前回起動時から変更されました。

□ARROWS Tab Rシリーズの場合

メッセージ	解説
D	
Diagnostic Program found error (code=xxxxxxxx)	診断プログラム実行結果でエラーを検出しました。
F	
Fan Error has occured	冷却ファンのエラーを検出しました。
Force shutdown has occured	強制終了が実行されました。
L	
Log Area Reset/Cleard	イベントログがクリアされました。
P	
Password failure	誤ったパスワードが3回入力されました。
POST Error: CMOS Time Not Set	日付、時刻が正しく設定されていません。 「System Time」「System Date」の設定を確認してください。
POST Error: NVRAM Recoverd	フラッシュメモリのデータが破損し、バックアップデータにより復旧しました。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POST Error: NVRAM Recoverd (Header Information)	フラッシュメモリのデータが破損し、バックアップデータにより復旧しました。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
POST Error: xxxxxxxx xxxxxxxx	xには数字が表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
S	
System Reconfigure	システム設定が変更されました。
T	
Thermal Sensor Error has occured	温度制御系のエラーを検出しました。

3.3 それでも解決できないときは

3.3.1 お問い合わせ先

■ 弊社へのお問い合わせ

故障かなと思われたときや、技術的なご質問・ご相談などについては、『取扱説明書』をご覧になり、弊社までお問い合わせください。

■ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本タブレットに添付されている、次のソフトウェアの内容については、各連絡先にお問い合わせください。
電話番号などが変更されている場合は、『取扱説明書』をご覧になり、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

- マカフィー リブセーフ
  マカフィー株式会社
  URL：http://www.mcafee.com/japan/home/support/
  （1）テクニカルサポートセンター
  インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口
  電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：03-5428-2279）
  受付時間：9:00 ～ 21:00（年中無休）
  お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/home/support/tsquery/
  （2）カスタマーサービスセンター
  ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口
  電話：0570-030-088（携帯電話からの場合：03-5428-1792）
  受付時間：9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く）
  お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/home/support/csquery/
  60 日間の試用期間中、サポートいたします。
- i-フィルター
  デジタルアーツ株式会社
  サポートセンター
  電話：0570-00-1334
  受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く）
  URL：http://www.daj.jp/faq/
  お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/
  30日間の試用期間中、サポートいたします。

廃棄・リサイクル

■ 本製品の廃棄について

- **フラッシュメモリディスクのデータを消去していますか？**
  タブレット本体に搭載されているフラッシュメモリディスクには、お客様の重要なデータ（作成したファイルや送受信したメールなど）が記録されています。タブレットを廃棄するときは、フラッシュメモリディスク内のデータを完全に消去することをお勧めします。フラッシュメモリディスク内のデータ消去については、「付録1 タブレット本体の廃棄・譲渡時の注意」（→P.78）をご覧ください。
- **本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。**
  ・法人、企業のお客様へ
  本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」（http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/）をご覧ください。
  ・個人のお客様へ
  本製品を廃棄する場合は、弊社ホームページ「富士通パソコンリサイクル」（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

■ 使用済み乾電池の廃棄について

ARROWS Tab Rシリーズのアクティブペンには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

・個人のお客様へ
使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

・法人、企業のお客様へ
使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

付録1　タブレット本体の廃棄 ・ 譲渡時の注意

ここでは、タブレットを廃棄・譲渡するときにデータが流出するのを防ぐための対策について説明しています。

タブレットの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリディスク上のデータ消去に関する注意

タブレットは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのタブレットの中のフラッシュメモリディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、そのタブレットを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。
ところが、このフラッシュメモリディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に
① データを「ごみ箱」に捨てる
②「削除」操作を行う
③「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
④ ソフトで初期化（フォーマット）する
⑤ リカバリし、ご購入時の状態に戻す
などの作業を行うと思います。
まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OSのもとでファイルを復元することができてしまいます。さらに②～⑤の操作をしても、フラッシュメモリディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。
つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このタブレットのフラッシュメモリディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
タブレットユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、フラッシュメモリディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、フラッシュメモリディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、フラッシュメモリディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。
なお、フラッシュメモリディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくタブレットを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、充分な確認を行う必要があります。

フラッシュメモリディスクデータ消去

本タブレットには、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、WindowsなどのOSによるファイル削除やフォーマットと違い、フラッシュメモリディスクの全領域に固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、特殊な設備や特殊なソフトウェアの使用によりデータを復元される可能性はあります。あらかじめご了承ください。

■ 注意事項

- タブレット本体にUSBメモリ、メモリーカード、外付けハードディスクなど周辺機器を接続している場合は、「ハードディスクデータ消去」を実行する前に必ず取り外してください。
- データ消去を実行するとフラッシュメモリディスクに格納されているデータ（リカバリデータなど）も消去されます。
  必要があれば「ハードディスクデータ消去」の前にリカバリデータディスクを作成してください。作成方法は『リカバリガイド』をご覧ください。
- Windows 8.1の場合は、「トラブル解決ナビディスク」を起動してから、72時間経過すると、本タブレットが自動的に再起動されます。そのため、「トラブル解決ナビディスク」を起動してから長時間放置した場合は、再起動してから「ハードディスクデータ消去」を実行してください。
- 必要なデータはバックアップしてください。
- データ消去終了まで、数時間かかります。本タブレットで「ハードディスクデータ消去」を実行する場合は、ACアダプタを接続してください。
- データ消去中に電源を切らないでください。フラッシュメモリディスクが故障する可能性があります。
- Windows 8.1の場合は、データ消去中に「トラブル解決ナビディスク」を取り出さないでください。処理を継続できなくなる場合があります。
- Windows 8.1の場合は、別売の外付け光学ドライブを接続してください。外付け光学ドライブは、添付のACアダプタを接続した状態で使用します。
  外付け光学ドライブについては、富士通製品情報ページ内の「システム構成図」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/）をご覧ください。

■ データ消去方法

□Windows 10の場合

1 次の操作を行い、起動メニュー（Boot Menu）を表示します。

●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. ビープ音が鳴ったら、ボタンを離します。
   起動メニューが表示されます。

●ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合

1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. 起動メニューが表示されたら、ボタンを離します。

●ARROWS Tab Rシリーズの場合

1. ボリュームダウンボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
2. Boot Menuが表示されたら、ボタンを離します。

POINT

- BIOSセットアップの「セキュリティ（Security）」メニューの「起動メニュー（Boot Menu）」が「使用しない（Disabled）」の場合は、起動メニューを使用できません。その場合は、「使用する（Enabled）」に設定し直してください。
  BIOSセットアップについては、「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.23）をご覧ください。
- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
  指紋または手のひら静脈を登録した場合は、認証を行ってください。
- 起動メニュー（Boot Menu）が表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本タブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2 次の操作を行い、画面を切り替えます。

●ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合
「Tab」をタップします。

●ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合
「メニュー切り替え」をタップします。

●ARROWS Tab Rシリーズの場合
画面右下の「[Tab]-Switch Menu」をタップします。

アプリケーションメニュー（Application Menu）が表示されます。

3 「診断プログラム（Diagnostic Program）」をタップして選択し、もう一度タップします。

「診断プログラムを実行しますか？（Do you want to run Diagnostic Program?）」と表示されます。

4 「実行（Run）」をタップします。

ハードウェア診断が始まります。
ハードウェア診断が終了したら、診断結果が表示されます。「再起動（Reboot）」をタップしてください。診断結果が表示される前に、自動的にタブレットが再起動する場合があります。

5 次の操作を行います。

●トラブルが検出されなかった場合

ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合はボリュームアップボタンを押し、ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、R／Vシリーズの場合は画面の「再起動（Reboot）」をタップしてください。続けて「富士通ハードウェア診断ツール」が起動します。

起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。手順6へ進んでください。

●トラブルが検出された場合

手順6以降の「富士通ハードウェア診断ツール」での診断は不要です。画面に表示された内容を控え、お問い合わせのときにお伝えください。その後、ボリュームアップボタンを押してタブレットの電源を切ってください。

電源が自動で切れない場合は、電源ボタンを押して電源を切ってください。

6 「注意事項」ウィンドウの内容を確認し、「OK」をタップします。

7 「ツール（Tool）」タブをタップます。

8 「データ消去（Data Erase）」にチェックを付け「実行（Execute）」をタップします。

表示された画面に従って操作してください。

データの消去には数時間かかります。完了すると「消去が完了しました。」と表示されます。

重 要

- ディスクのデータを消去する方式は、必ず「SSD対応（フラッシュメモリディスク用）」を選択してください。それ以外の方式を選択すると、完全にデータを消去することができませんのでご注意ください。

9 「終了（End）」をタップします。

タブレット本体の電源が切れます。

重 要

- 電源が自動で切れない場合は、電源ボタンを4秒以上（ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合は10秒以上）押して、電源を切ってください。

□Windows 8.1の場合 （ARROWS Tab Q507/RB、 Q507/REのみ）

「トラブル解決ナビディスク」を用意してください。

1. 「トラブル解決ナビディスク」をセットします。
2. 『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧になり、タブレット本体の電源を切ります。
3. 「2.2.5 起動メニューを使用する」（→P.26）をご覧になり、光学ドライブから起動します。
   「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。
4. 「ユーティリティ」タブをタップし、「ハードディスクデータ消去」を選択し、「実行」をタップします。
   「ハードディスクデータ消去」ウィンドウが表示されます。
5. 画面の指示に従って「ハードディスクデータ消去」を実行します。
   表示された画面に従って操作してください。
   データの消去には数時間かかります。完了すると「消去が完了しました。」と表示されます。

   重 要

   ディスクのデータを消去する方式は、必ず「SSD対応（フラッシュメモリディスク用）」を選択してください。それ以外の方式を選択すると、完全にデータを消去することができませんのでご注意ください。
6. 「トラブル解決ナビディスク」を取り出します。
7. 電源ボタンを10秒以上押して、電源を切ります。

付録2　Windowsの新規インストールについて

Windowsを新規にインストールするときに気を付けていただきたいことについて説明します。

重 要

- 新規にインストールできるOSは、サポートOSのみとなりますのでご注意ください。
  お使いの機種のサポートOSについては、『製品ガイド（機種別編）』の「5章 仕様」―「本体仕様」をご覧になり、確認してください。

注意事項

- Windowsを新規にインストールすると、フラッシュメモリディスクのすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。
- Windowsをインストールすることにより、今までお使いになっていた機能が使えなくなることがあります。
- ご購入後に増設・接続された周辺機器は、必ず取り外してください（カスタムメイドオプションを除く）。OSの新規インストールが完了してから、1つずつ取り付けてください。
- 「ドライバーズディスク」の「種別」－「必須」に表示されるドライバーはすべてインストールしてください。また、ご購入時に選択したカスタムメイドに合わせたドライバーも必ずインストールしてください。インストールしなかった場合、タブレットが正常に動作しません。
- 最新版のドライバーやユーティリティは、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html）にて提供されている場合があります。システムの安定稼働のため、常に最新版のドライバーやユーティリティを適用することをお勧めします。
- 別売の外付け光学ドライブを接続してください。
- OSのインストール中は、タッチパネルでは操作できません。USBキーボードとUSBマウスを接続してください。USBコネクタが不足する場合は、USBハブを接続してください。
- Windowsを新規インストールした後は、必ずドライバーズディスクまたはドライバーズディスク検索から「I/O接続親和性向上ツール」をインストールしてください。

■ Windows 10を新規インストールする場合の注意

- ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、VシリーズでWindows 10をお使いの場合、本タブレットに「ドライバーズディスク」がありません。
  Windows 10の新規インストールを行う前に、Cドライブに格納されているドライバー（フォルダごと）をUSBメモリなどにバックアップをしてください。
  C:¥Fujitsu¥SoftwareDisc¥Drivers
  新規インストールでドライバーおよびユーティリティをインストールするときに、このデータをコピーして使用します。
- Windows 10を新規にインストールする場合には、初期セットアップ後にスタートメニューやWindows ユニバーサル アプリが開けなくなる問題に対処する次の修正プログラムをインストールする必要があります。
  なお、問題が発生してWindowsの操作ができなくなった場合は、再度Windows 10を新規インストールしてから、修正プログラムをインストールしてください。

  修正プログラム：KB3194798、または以降の累積的な修正プログラム

  ・Windows 10 更新履歴
  https://support.microsoft.com/ja-jp/help/12387/windows-10-update-history
  ・ダウンロードURL
  http://catalog.update.microsoft.com/v7/site/Search.aspx?q=KB3194798
  （なお、このURLは変更されることがあります）
  ・インストール方法
  1. 管理者アカウントでサインインします。
  2. ダウンロードしたファイルを格納したフォルダーを開きます。
  3. ダウンロードしたファイルをダブルタップします。
     修正プログラムが実行されます。
     この後は、表示された画面に従って操作してください。

新規インストールの準備

■ キーボード、 マウス、 外付け光学ドライブを接続する

■ BIOSの設定をご購入時の状態に戻す （→P.36）

■ セキュリティチップをクリアする （→P.32）

■ フラッシュメモリディスクデータを消去する （→P.79）

■ Windowsをインストールする前にBIOSセットアップの設定を変更する

次の表をご覧になり、新規にインストールするOSの欄のとおりに設定を変更します。
BIOSセットアップについては、「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.23）をご覧ください。

重 要

- 新規にインストールできるOSは、サポートOSのみとなりますのでご注意ください。
  お使いの機種のサポートOSについては、『製品ガイド（機種別編）』の「5章 仕様」―「本体仕様」をご覧になり、確認してください。

□ARROWS Tab Q／Vシリーズの場合

メニュー	設定項目	設定値
詳細	起動設定	
	高速起動	使用する
	互換性サポートモジュール[注]	使用しない
セキュリティ	セキュアブート設定	
	セキュアブート機能	使用する

注 ：「セキュアブート機能」の設定が「使用する」の場合、「互換性サポートモジュール」の設定は自動的に「使用しない」になり、変更できなくなります。

□ARROWS Tab Rシリーズの場合

メニュー	設定項目	設定値
Advanced	Boot Configurations	
	Fast Boot	Enabled
	CSM[注]	Disabled
Security	Secure Boot Configurations	
	Secure Boot Option	Enabled

注 ：「Secure Boot Configurations」の設定が「Enabled」の場合、「CSM」の設定は自動的に「Disabled」になり、変更できなくなります。

■ ディスクを用意する

- 正規のWindows 10、Windows 8.1のインストールディスク
- ドライバーズディスク
- 事前にWindows10のドライバーをバックアップしたUSBメモリ
  （ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合）

新規インストール手順

1 ディスクをセットした外付け光学ドライブを、タブレット本体に接続し、Windowsのインストールディスクを起動します。

1. 次の操作を行い、起動メニュー（Boot Menu）を表示します。
   - ARROWS Tab Q737/R、Q737/R-PVの場合
     1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
     2. ビープ音が鳴ったら、ボタンを離します。
        起動メニューが表示されます。
   - ARROWS Tab Q507/RB、Q507/RE、Q507/R-SP、Vシリーズの場合
     1. ボリュームアップボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
     2. 起動メニューが表示されたら、ボタンを離します。
   - ARROWS Tab Rシリーズの場合
     1. ボリュームダウンボタンを押したまま、本タブレットの電源を入れます。
     2. Boot Menuが表示されたら、ボタンを離します。
2. CD/DVDを選択して【Enter】キーを押します。
   - 「選択したデバイスから起動できませんでした。」と表示された場合
     BIOSの設定が誤っている可能性があります。「■ Windowsをインストールする前にBIOSセットアップの設定を変更する」（→P.85）に戻り、設定を確認してください。
   - 「CD/DVDの起動モードを選択してください」と表示された場合
     BIOSの設定が誤っている可能性があります。「■ Windowsをインストールする前にBIOSセットアップの設定を変更する」（→P.85）に戻り、設定を確認してください。

   「Press any key to boot from CD or DVD…」と表示された場合は、何かキーを押してください。

2 画面の指示に従って、Windowsのインストールとセットアップを行います。

途中、「Windowsのインストール場所を選択してください。」と表示された場合は、「プライマリ」と書かれたパーティションを選択してください。

3 ドライバーおよびユーティリティをインストールします。

●「ドライバーズディスク」を使用する場合

1. 「ドライバーズディスク」をセットします。
   「ドライバーズディスク検索（DRVCDSRC.exe）」が起動します。
   自動的に起動しない場合は、「DRVCDSRC.exe」を実行してください。
2. 「種別」から「必須」を選択します。
3. 表示されたドライバーを、上から順にすべてインストールします。
4. 「種別」から「任意」または「すべて」を選択し、ご購入時に選択したカスタムメイドにあわせて必要なドライバーをインストールします。

●「USBメモリ」を使用する場合

1. 事前にドライバーをバックアップしておいたUSBメモリを、USBコネクタに差し込みます。
2. 次のフォルダにバックアップしたドライバー（フォルダごと）をコピーします。
   C:¥Fujitsu¥SoftwareDisc¥Drivers
3. コピーしたフォルダを開き、次のファイルをダブルタップします。
   DrvCdSrc.exe
4. 「ドライバーズディスク検索」が起動します。
5. 「種別」から「任意」または「すべて」を選択し、ご購入時に選択したカスタムメイドにあわせて必要なドライバーをインストールします。

POINT

- インターネットに接続すると、自動的にインストールされるドライバーおよびユーティリティがあります。

4 すべてのドライバーおよびユーティリティをインストールした後は、Windows Updateを実行しWindowsを最新の状態に更新してください。
詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

付録3　認定および準拠について

本タブレットに固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、次の手順で表示される画面で確認できます。

1. BIOSセットアップを起動します。
   「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.23）
2. 「情報（Info）」メニューをタップします。
3. 「認証表示（Display Regulatory Compliance）」をタップして選択し、「Enter」をタップします。
   「認証表示（Display Regulatory Compliance）」が表示されます。

ARROWS Tab

製品ガイド（共通編）
B5FK-9361-02 Z0-01

発 行 日　2017年9月
発行責任　富士通株式会社

〒105-7123　東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。